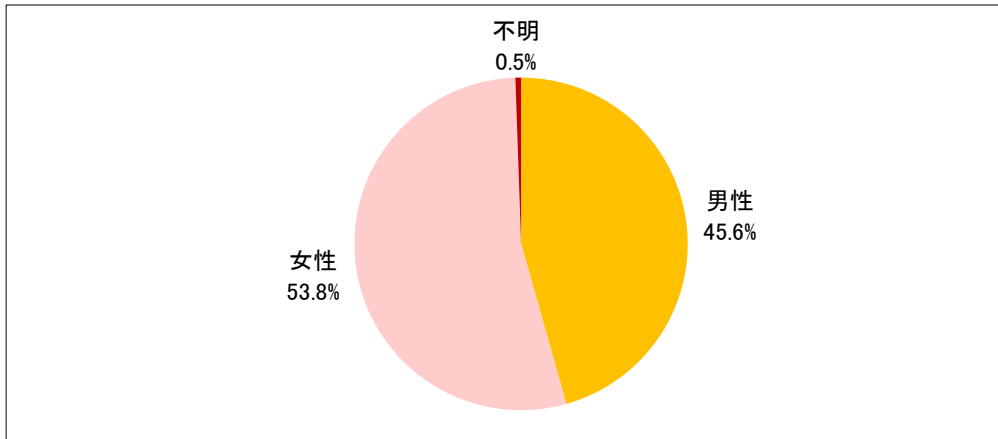


将来のまちづくりに関するアンケート調査結果

調査目的	市民が認識している地域課題や将来のまちづくりの意向などの把握
調査対象	稲沢市に住民登録のある16歳以上の方
主な調査項目	<input type="checkbox"/> 定住や居住環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ 稲沢市に住むことになったきっかけ ・ 稲沢市の住みやすさと理由 ・ 今後の定住意向 ・ 稲沢市より住みやすそうと思う近隣のまちと選定理由 ・ 将来、持ち家を持つ際に居住を希望する候補先 <input type="checkbox"/> 将来のまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 稲沢市の都市イメージ ・ 地域の生活環境の満足度 ・ 市民参加のまちづくりに対する意向と推進課題 ・ 稲沢市の発展の方向 ・ 稲沢市が特に重要かつ優先的に対応すべき社会の変化 ・ 若い世代・高齢世代に暮らしやすいまちづくり ・ リニア中央新幹線の開通に向けて取り組むべきこと ・ 効率的なまちづくりへの取り組み ・ 人口減少社会への対応
調査方法	郵送による配布・回収
対象者の抽出方法	住民基本台帳より3,000人を無作為抽出
調査期間	2015年8月27日（発送）～9月11日（回収期限）
回答者数	1,096人（有効回答率36.5%）
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設問文末の記号について、「SA」は単回答、「MA」は複数回答、「NA」は数値記述、「FA」は自由記述となる。 ・ グラフ下の「n=○」は該当する回答数を示す。 ・ 回答の集計は、選択肢の回答数を総回答数で除したものを%表記しているが、小数第2位を四捨五入しているため、各回答の合計が100%とならない場合がある。 ・ 問7～16については、別途16～39歳の方1,000人を対象として「結婚・出産・子育てに関するアンケート調査」を同時期に実施（有効回収数263人）しており、その結果との合算値を表示している。

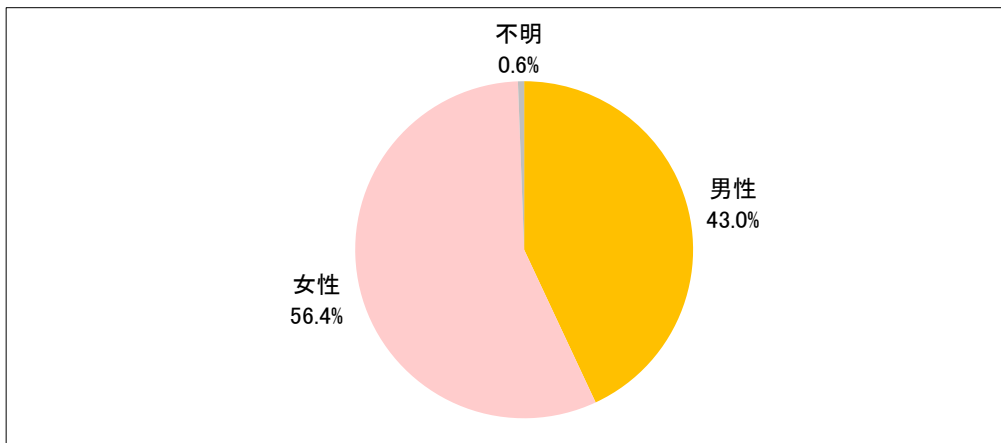
あなたの属性について

問1 あなたの性別を選んでください。(SA)



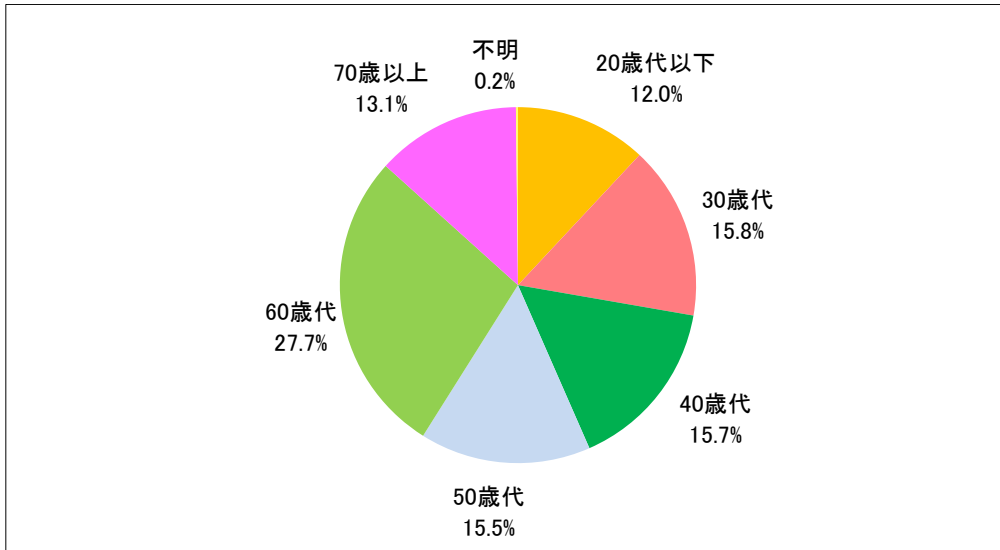
(n=1,096)

(参考) 結婚・出産・子育てに関するアンケート調査との合算値



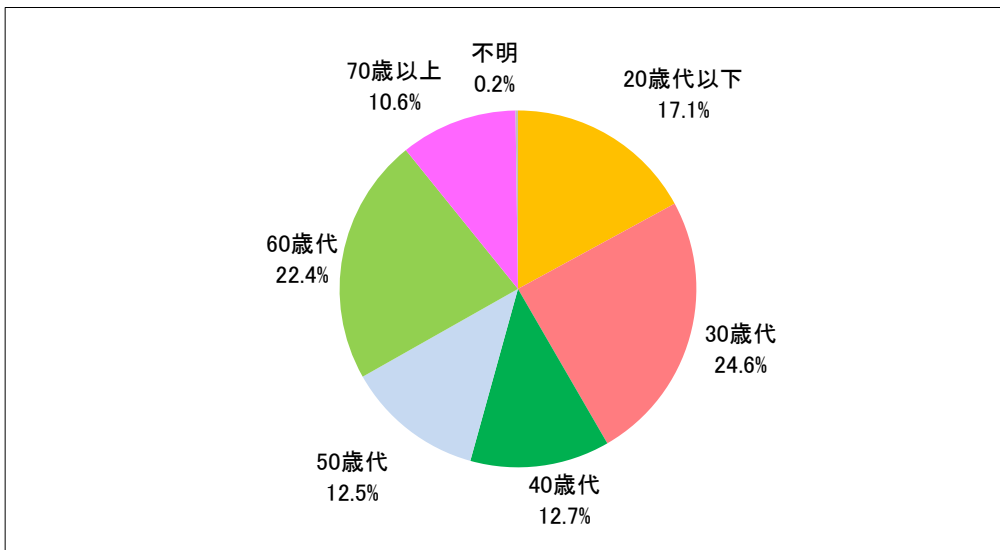
(n=1,359)

問2 あなたは何歳ですか。ご記入時の年齢を選んでください。(SA)



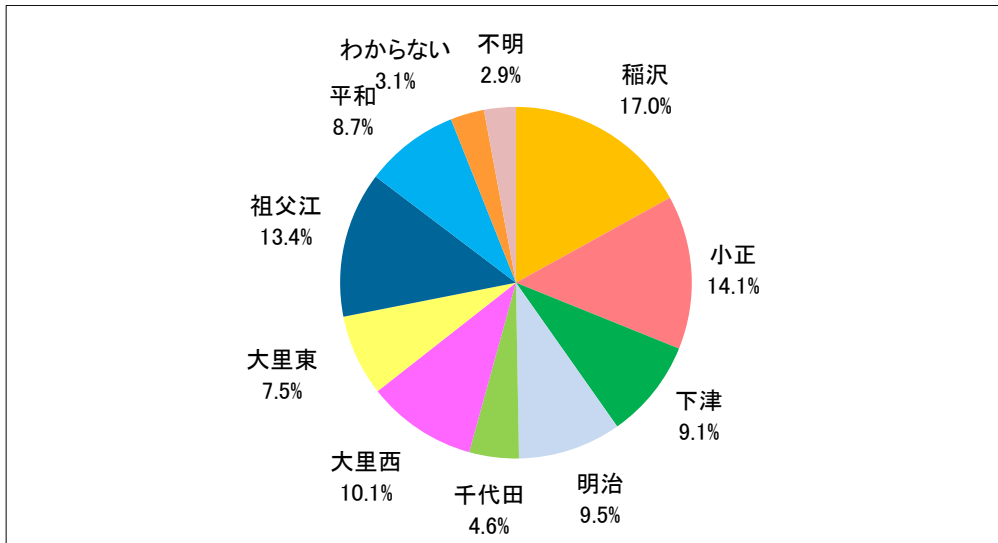
(n=1,096)

(参考) 結婚・出産・子育てに関するアンケート調査との合算値



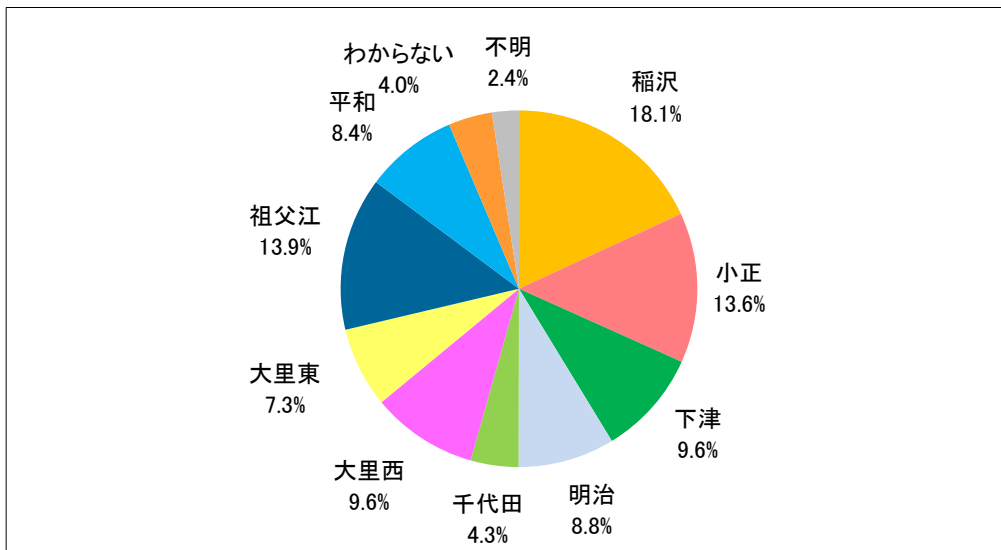
(n=1,359)

問3 あなたの居住する地区を選んでください。(SA)



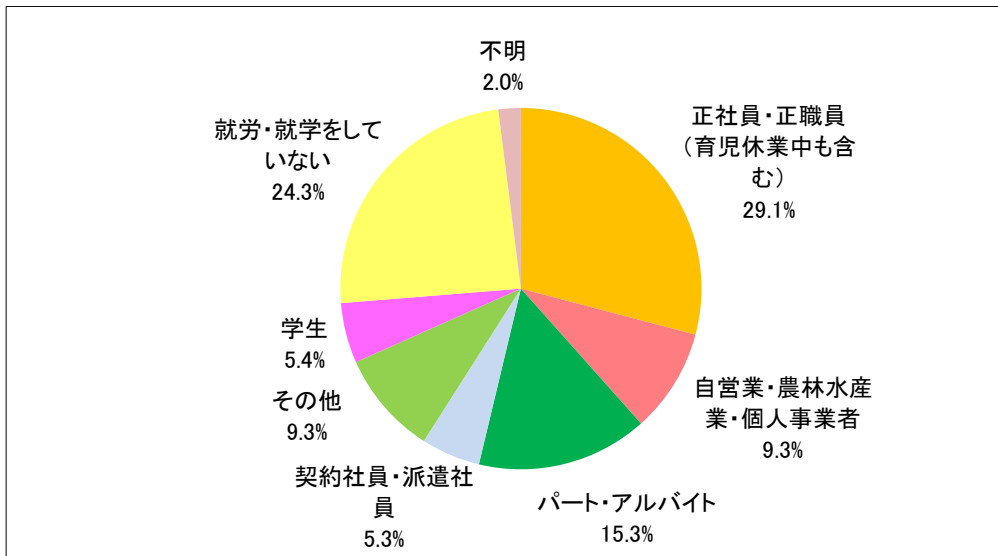
(n=1,096)

(参考) 結婚・出産・子育てに関するアンケート調査との合算値



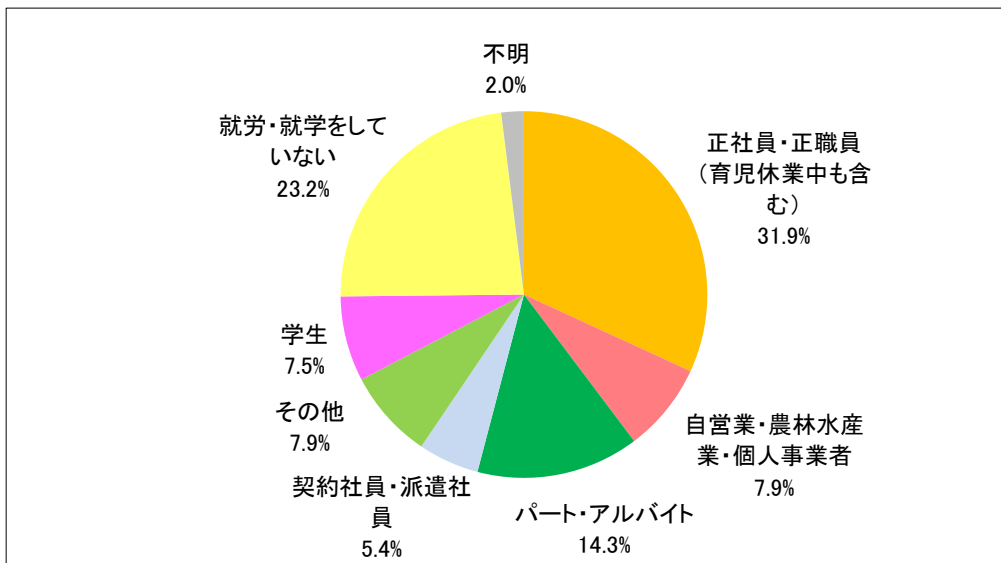
(n=1,359)

問4 あなたはどのような職業に就いていますか。(SA)



(n=1,096)

(参考) 結婚・出産・子育てに関するアンケート調査との合算値



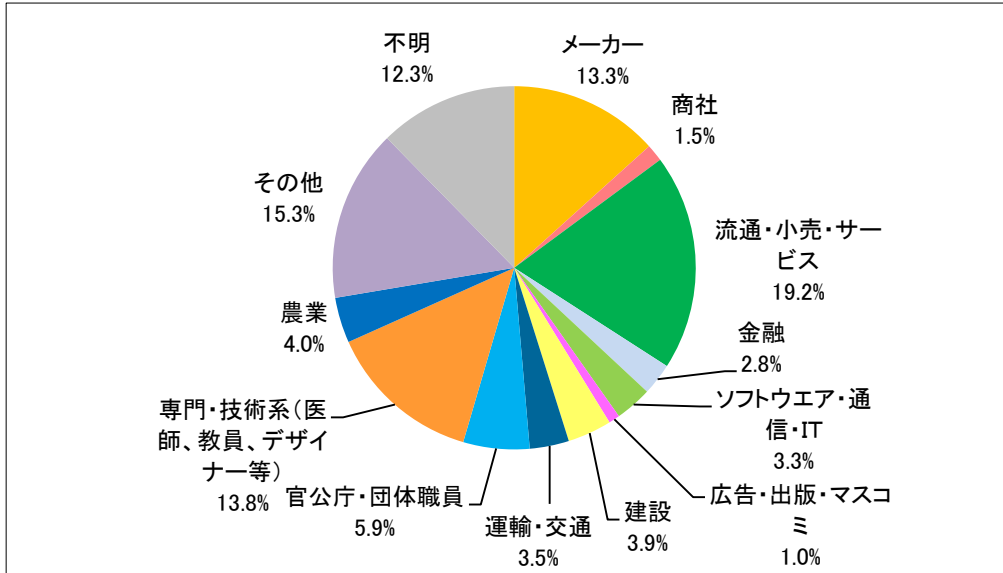
(n=1,359)

※以降、問5～問16は結婚・出産・子育てに関するアンケート調査との合算値

(問4で「1 正社員・正職員」から「5 その他」を選択した方(働いている方)のみ)

問5 あなたの仕事はどのような職種ですか。(SA) (結婚・出産・子育て：問28)

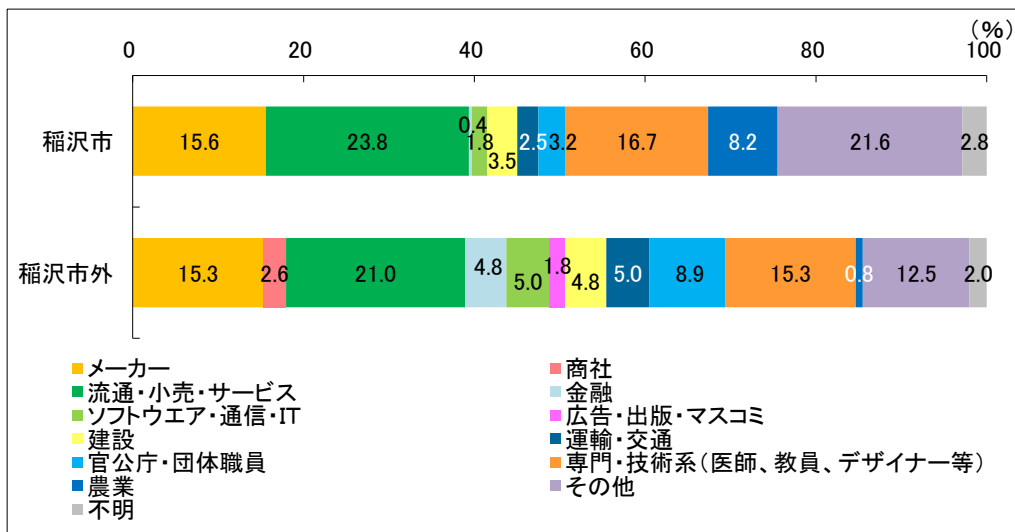
就業先の職種では「流通・小売・サービス(19.2%)」が最も高く、次いで「専門・技術系(医師、教員、デザイナー等)(13.8%)」、「メーカー(13.3%)」となっている。



(n=915)

【クロス集計結果：問5(職種)×問6(勤務地)】

稲沢市民の職種を勤務地別(市内・市外)で比較すると、1次産業である「農業」は、市内が8.2%であり、市外の0.8%を大きく上回る。第2次産業である「メーカー」や「建設」の就業割合は、市内・市外ともほぼ同じ割合である。また、第3次産業は、市内・市外とも「流通・小売・サービス」が最も高く、その割合も同程度である。一方、「金融」や「ソフトウェア・通信・IT」、「官公庁・団体職員」の割合はいずれも市外が上回っており、雇用を市外に依存している状況にある。

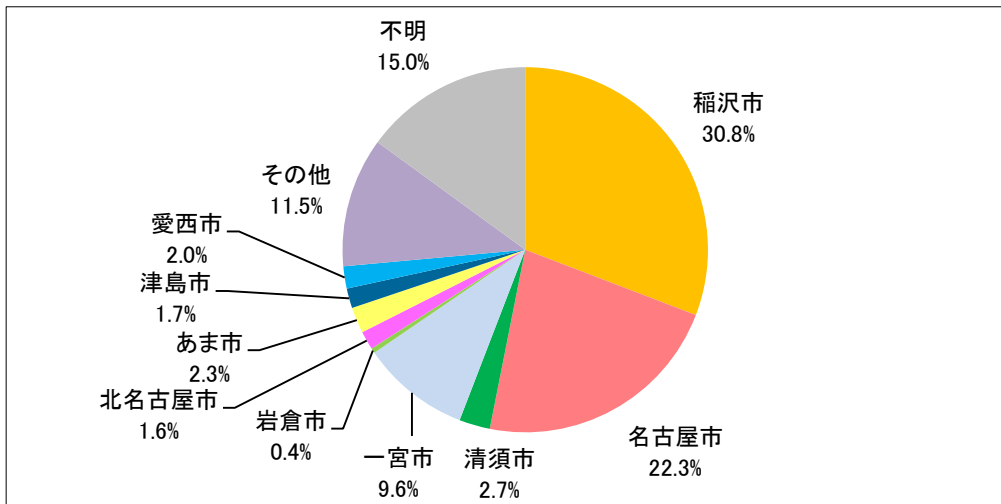


(n：稲沢市=282、稲沢市外=496)

(問4で「1 正社員・正職員」から「5 その他」を選択した方(働いている方)のみ)

問6 あなたの勤務先はどこですか。(SA) (結婚・出産・子育て:問29)

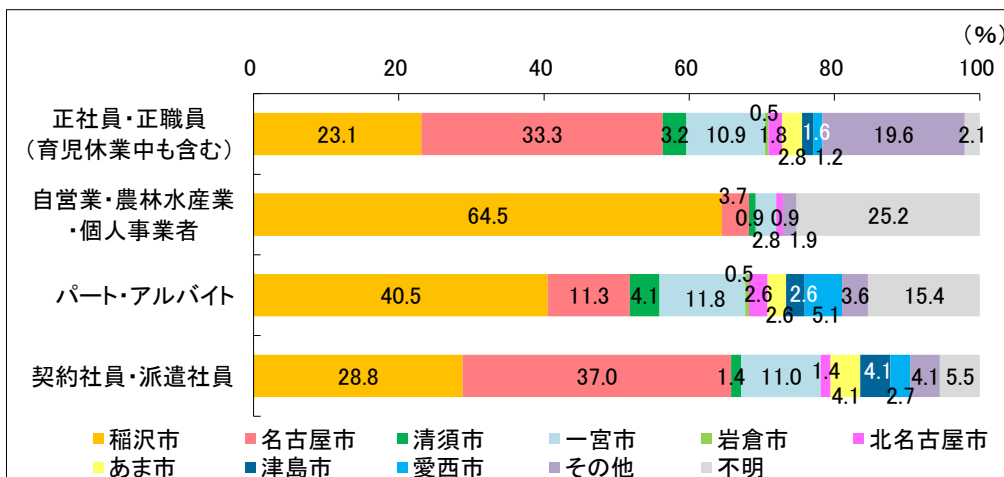
「稲沢市(31.2%)」に勤めている割合が最も高いが、3割に留まっている。稲沢市に次いで「名古屋市(20.7%)」、「一宮市(9.6%)」の順に高く、市外事業所が稲沢市民の雇用の受け皿となっていることがうかがえる。



(n=915)

【クロス集計結果(雇用形態別)】

雇用形態別に回答結果を見ると、「自営業・農林水産業・個人事業者」においては、勤務先が「稲沢市内(64.5%)」が6割超を占め、他の形態に比べて市内での就業割合が高い。一方、「正社員・正職員(育児休業中も含む)」や「契約社員・派遣社員」においては、「名古屋市」が3割超あり、「稲沢市」の割合を上回る。



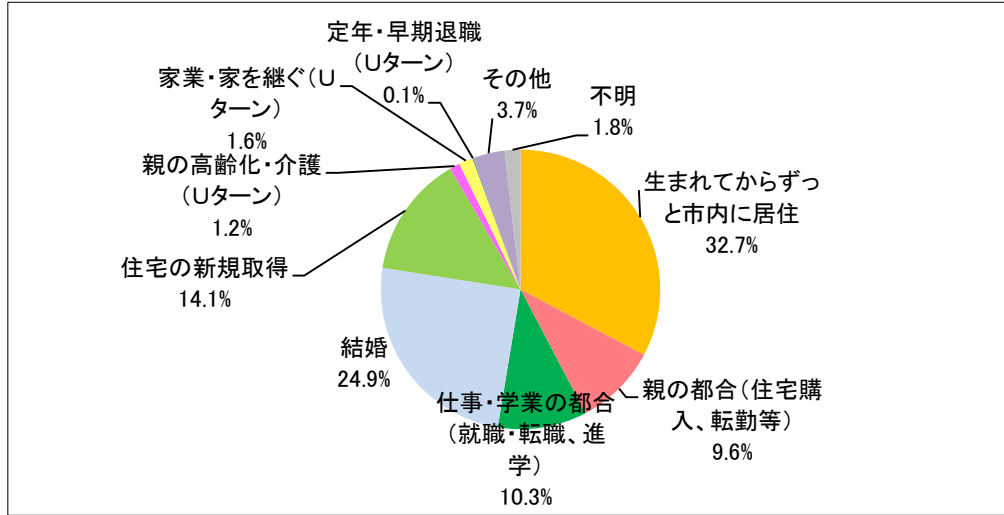
(n: 正社員・正職員(育児休業中も含む)=433、自営業・農林水産業・個人事業者=107、パート・アルバイト=195、契約社員・派遣社員=73)

定住や居住環境について

問7 あなたが稲沢市に住むことになったきっかけは何ですか。(SA)

(結婚・出産・子育て：問4)

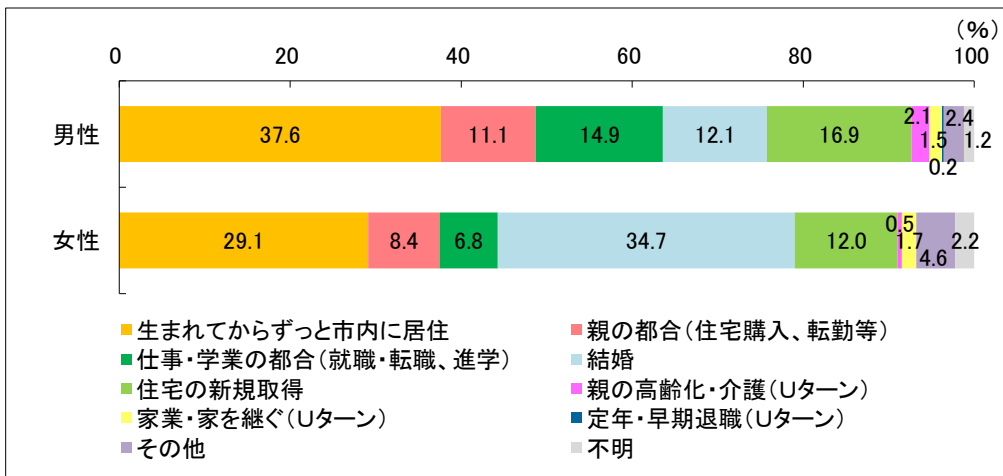
「生まれてからずっと市内(32.7%)」が最も高く、次いで「結婚(24.9%)」、「新規の住宅取得(14.1%)」となっている。



(n=1,359)

【クロス集計結果(性別)】

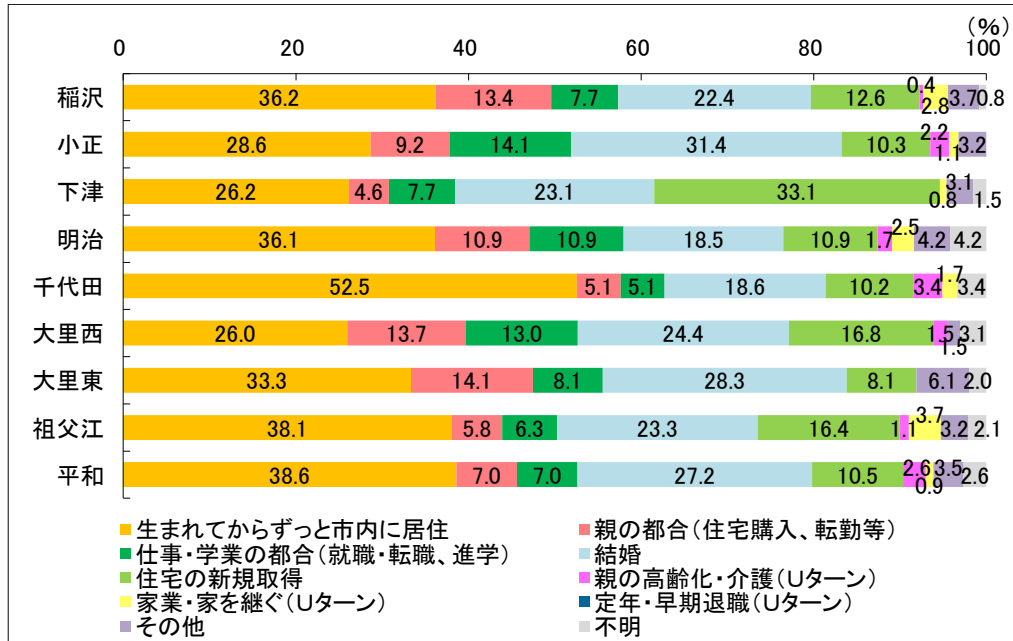
男女別に回答結果を見ると、男性では「生まれてからずっと市内に居住(37.6%)」の割合が最も高く、次いで「住宅の新規取得(16.9%)」、「仕事・学業の都合(就職・転職、進学)(14.9%)」となっている。一方、女性では「結婚(34.7%)」の割合が最も高く、男性を約20ポイント上回っている。次いで「生まれてからずっと市内に居住(29.1%)」、「住宅の新規取得(12.0%)」となっており、男女で居住要因は異なっている。



(n : 男性=585、女性=766)

【クロス集計結果（地区別）】

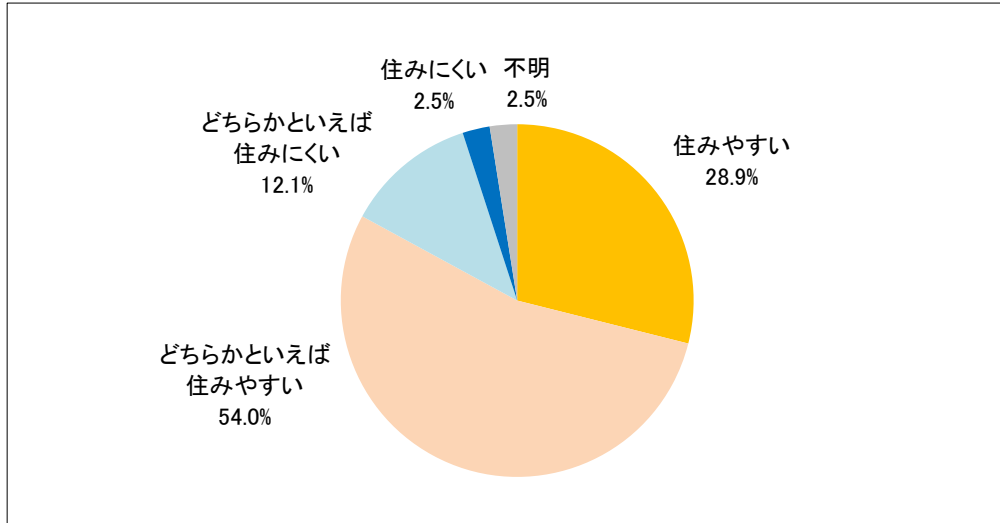
地区別に回答結果を見ると、地区によって異なる傾向が見られる。小正・下津地区を除き、各地区とも「生まれてからずっと市内に居住」している割合が最も高く、特に千代田地区では 52.5%と突出している。小正地区では「結婚（31.4%）」の割合が、また下津地区では「住宅の新規取得（33.1%）」の割合が最も高い。なお、千代田地区を除き、各地区とも「生まれてからずっと市内に居住」している割合は4割に満たず、転入者が多いことがうかがえる。



(n : 稲沢=246、小正=185、下津=130、明治=119、千代田=59、
大里西=131、大里東=99、祖父江=189、平和=114)

問8 稲沢市の住みやすさについては、いかがですか。(SA) (結婚・出産・子育て：問5)

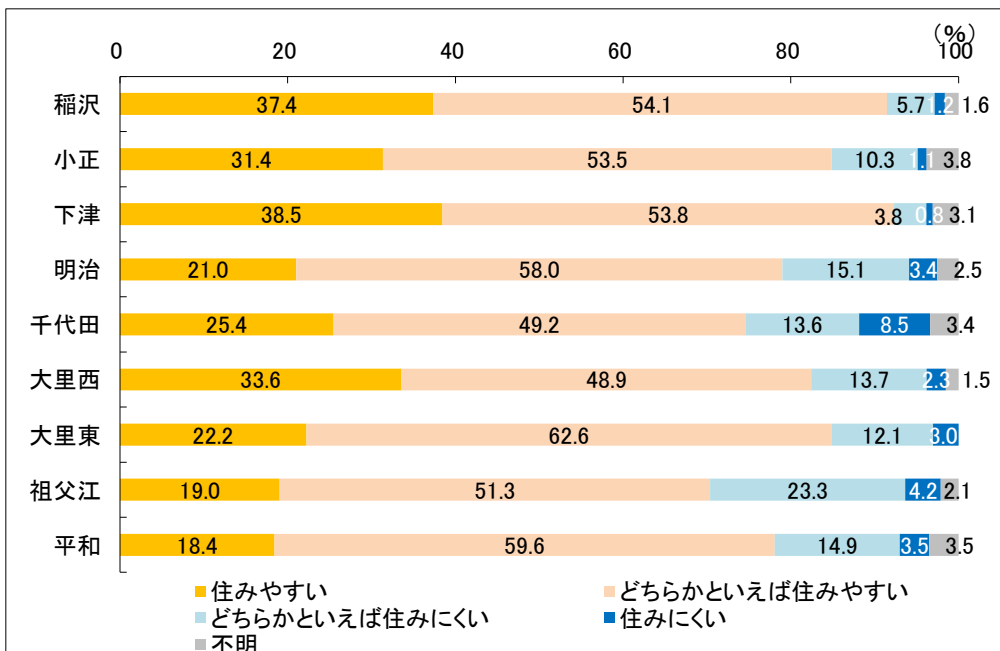
「住みやすい (28.9%)」、「どちらかといえば住みやすい (54.0%)」の合計が8割超となっており、評価は高い。



(n=1,359)

【クロス集計結果 (地区別)】

地区別に回答結果を見ると、稲沢・下津地区では「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計が9割超となっている。一方、祖父江・千代田地区では、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計がそれぞれ70.3%、74.6%と他地区に比べて低い傾向にある。

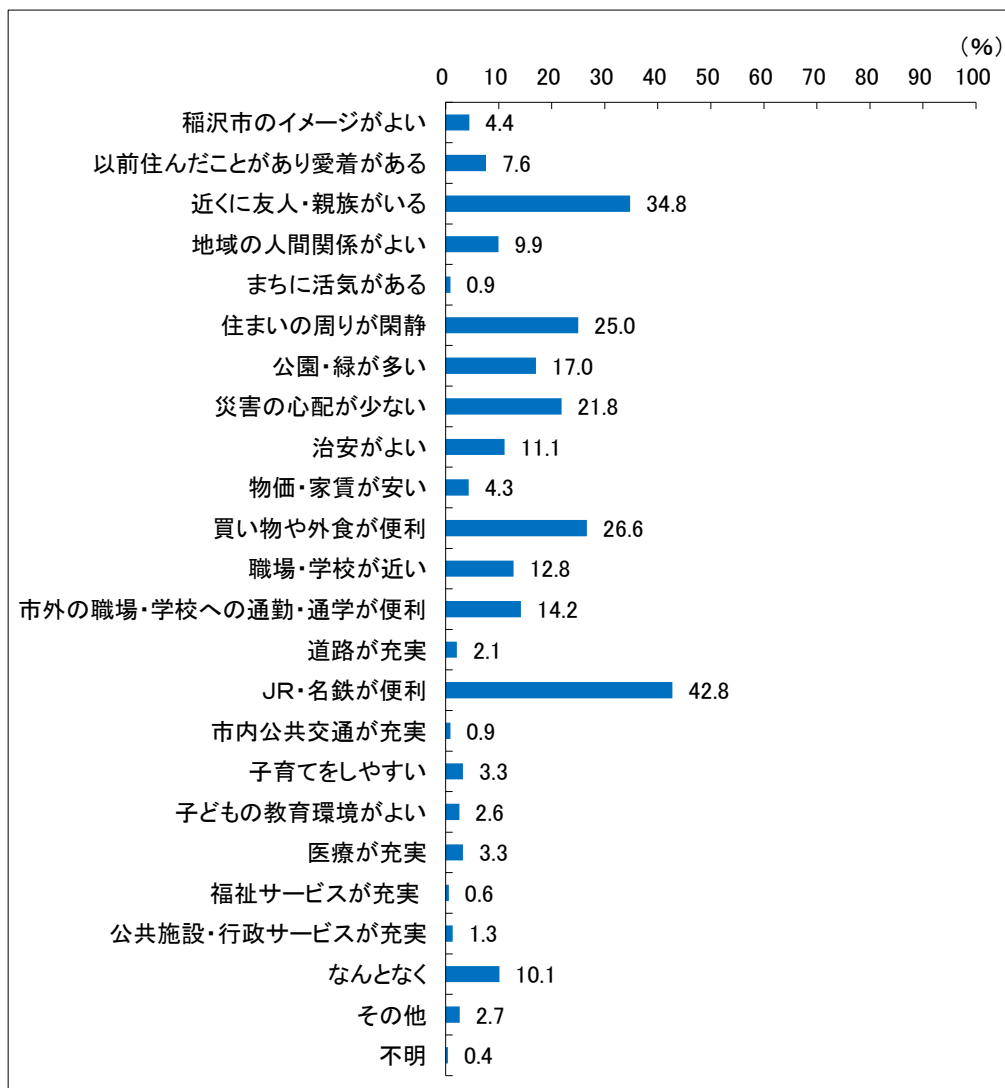


(n : 稲沢=246、小正=185、下津=130、明治=119、千代田=59、大里西=131、大里東=99、祖父江=189、平和=114)

(問8で「1 住みやすい」、「2 どちらかといえば住みやすい」を選択した方のみ)

問9 なぜ稲沢市を住みやすいと思いましたか。(MA：3つまで)(結婚・出産・子育て：問6)

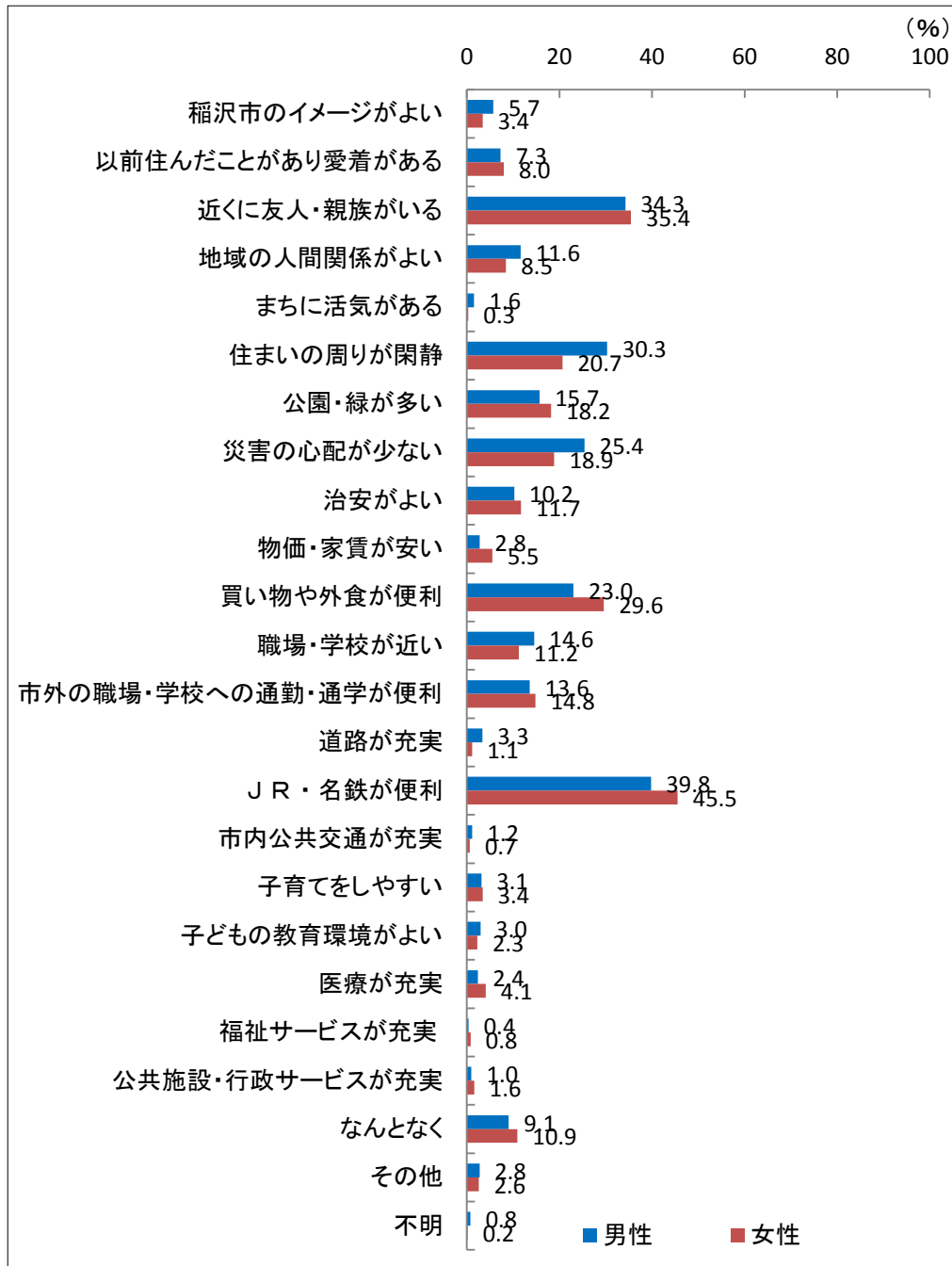
稲沢市が住みやすい理由として「JR・名鉄が便利(42.8%)」が最も高く、次いで「近くに友人・親族がいる(34.8%)」、「買い物や外食が便利(26.6%)」、「住まいの周りが閑静(25.0%)」、「災害の心配が少ない(21.8%)」となっている。



(n= 1,127)

【クロス集計結果（性別）】

男女別に「稲沢市が住みやすい」理由を見ると、男女とも「JR・名鉄が便利（男性：39.8%、女性：45.5%）」が最も高く、次いで「近くに友人・親族がいる（男性：34.3%、女性：35.4%）」となっている。一方、「住まいの周りが閑静（男性：30.3%、女性：20.7%）」では男性が約10ポイント上回っているものの、男女で大きな差が生じた項目はなく、性別による大きな差は見られない。



(n : 男性=508、女性=615)

【クロス集計結果（地区別）】

地区別に「稲沢市が住みやすい」理由を見ると、各地区とも「近くに友人・親戚がいる」の割合が高く、特に千代田・祖父江・平和地区での割合が4割超と高い。また、大型店の立地する稲沢・小正・下津・明治地区で「買い物や外食が便利」の占める割合が高く、稲沢駅、国府宮駅、大里駅へのアクセスの良い稲沢・小正・下津・大里西・大里東地区で「JR・名鉄が便利」の割合が高い。一方、千代田・祖父江・平和地区で「住まいの周りが閑静」の割合が、また、明治・千代田・祖父江地区で「災害の心配が少ない」の割合がそれぞれ高い。

	回答者数	稲沢市のイメージがよい	以前住んだことがあり愛着がある	近くに友人・親戚がいる	地域の人間関係がよい	まちに活気がある	住まいの周りが閑静	公園・緑が多い	災害の心配が少ない
全体	1127	4.4	7.6	34.8	9.9	0.9	25.0	17.0	21.8
稲沢	225	5.3	8.4	28.0	7.1	0.9	17.8	20.4	19.1
小正	157	2.5	5.1	31.2	5.1	0.0	12.7	18.5	17.2
下津	120	1.7	3.3	36.7	6.7	3.3	22.5	15.8	12.5
明治	94	8.5	10.6	37.2	7.4	0.0	25.5	14.9	38.3
千代田	44	2.3	4.5	54.5	22.7	0.0	54.5	18.2	27.3
大里西	108	6.5	9.3	34.3	13.0	0.9	23.1	6.5	31.5
大里東	84	2.4	7.1	32.1	9.5	1.2	27.4	6.0	16.7
祖父江	133	3.8	12.0	45.1	15.8	0.8	40.6	23.3	24.8
平和	89	5.6	7.9	42.7	14.6	1.1	31.5	13.5	16.9

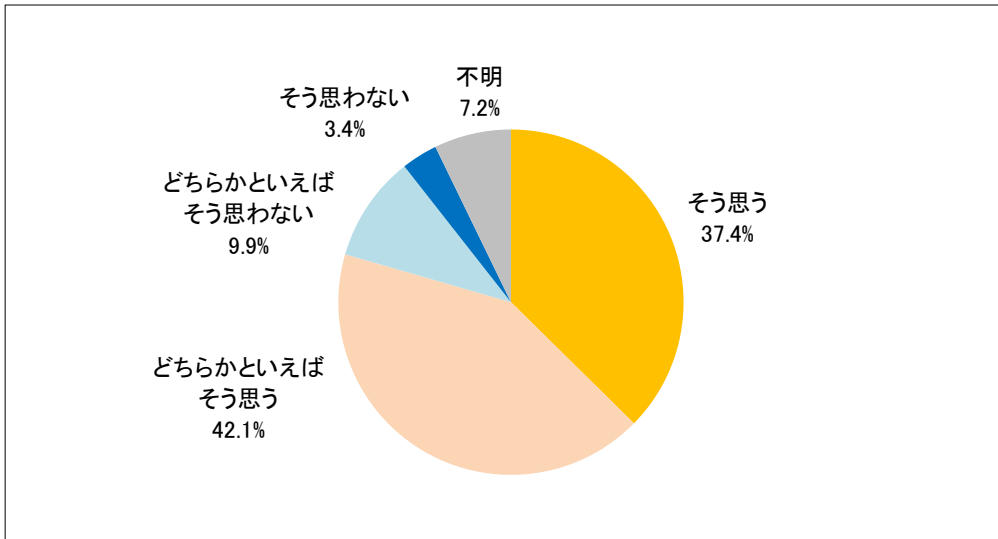
	治安がよい	物価・家賃が安い	買い物や外食が便利	市外の職場・学校への通勤・通学が便利	道路が充実	J R・名鉄が便利	市内公共交通が充実	職場・学校が近い
全体	11.1	4.3	26.6	14.2	2.1	42.8	0.9	12.8
稲沢	10.7	4.9	36.9	21.3	1.3	55.1	1.3	14.7
小正	7.6	7.0	31.8	20.4	2.5	73.2	2.5	10.8
下津	7.5	7.5	38.3	19.2	3.3	58.3	0.0	8.3
明治	12.8	2.1	29.8	6.4	4.3	13.8	2.1	16.0
千代田	6.8	0.0	9.1	6.8	0.0	4.5	0.0	13.6
大里西	13.0	3.7	15.7	13.0	0.0	39.8	0.9	16.7
大里東	13.1	2.4	21.4	26.2	0.0	60.7	0.0	13.1
祖父江	15.8	2.3	11.3	3.8	2.3	15.0	0.0	9.8
平和	11.2	2.2	16.9	2.2	5.6	12.4	0.0	12.4

	子育てをしやすい	子どもの教育環境がよい	医療が充実	福祉サービスが充実	公共施設・行政サービスが充実	なんとなく	その他	不明
全体	3.3	2.6	3.3	0.6	1.3	10.1	2.7	0.4
稲沢	3.6	1.3	2.2	0.9	1.3	9.8	1.3	0.4
小正	3.2	1.9	5.1	1.3	0.6	5.7	5.7	0.0
下津	5.0	0.8	0.0	0.0	0.0	6.7	1.7	0.8
明治	5.3	2.1	5.3	0.0	1.1	11.7	1.1	1.1
千代田	4.5	6.8	0.0	0.0	0.0	13.6	2.3	2.3
大里西	0.9	0.9	3.7	0.9	2.8	10.2	3.7	0.0
大里東	1.2	1.2	2.4	0.0	1.2	8.3	1.2	0.0
祖父江	3.0	6.0	6.8	1.5	3.0	9.8	0.8	0.8
平和	3.4	6.7	3.4	0.0	0.0	18.0	4.5	0.0

(n=1,127)

問 10 今後も稲沢市に住み続けたいと思いますか。(SA) (結婚・出産・子育て：問 7)

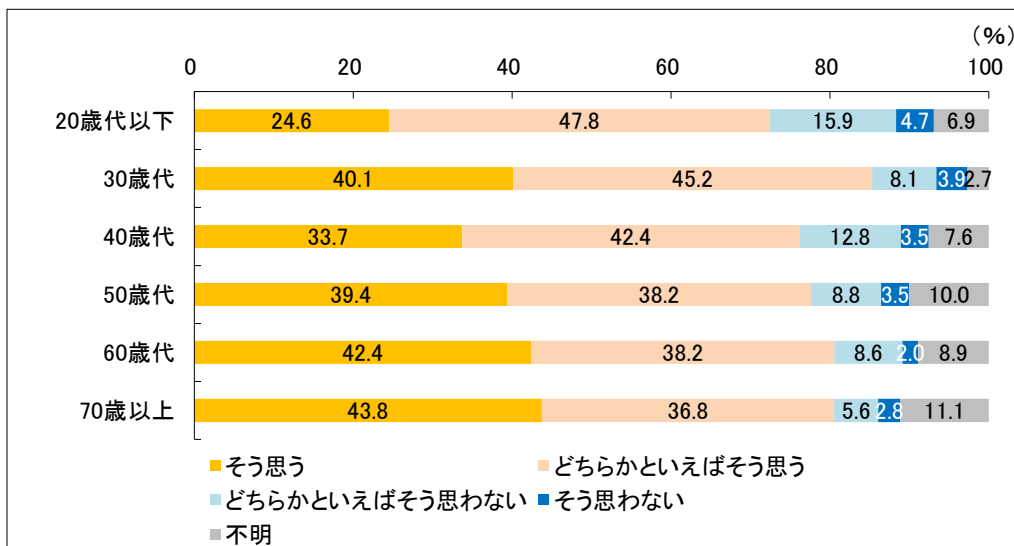
「そう思う (37.4%)」、「どちらかといえばそう思う (42.1%)」を合わせて約 8 割であり、肯定的な意見が大半を占める。



(n=1,359)

【クロス集計結果 (年齢別)】

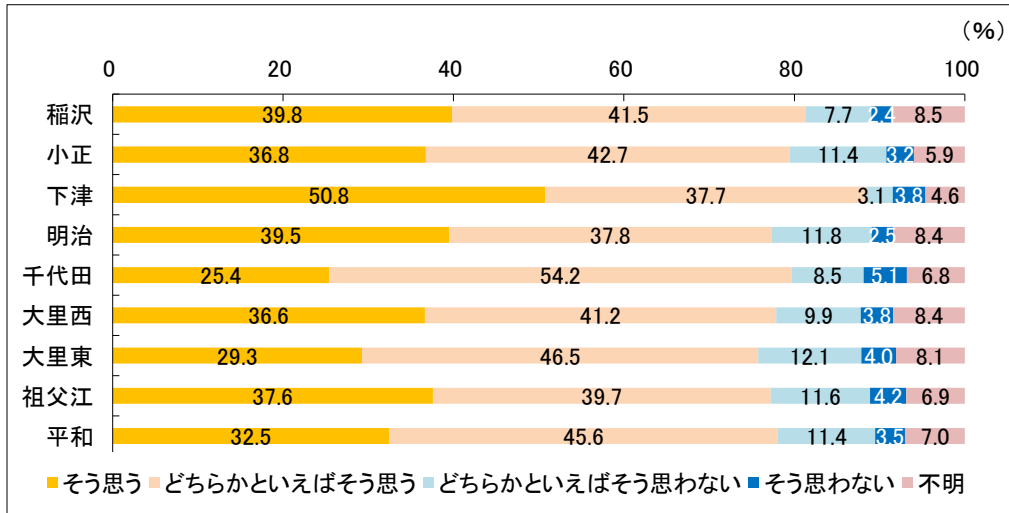
年齢別に回答結果を見ると、若年層ほど住み続ける意向が低くなる傾向にあり、20 歳代以下では「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせて 72.4%と最も低い。一方、住宅を 1 次取得する世代である 30 歳代は住み続ける意向が最も高く、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせて 85.3%となっている。



(n : 20 歳代以下=232、30 歳代=334、40 歳代=172、
50 歳代=170、60 歳代=304、70 歳以上=144)

【クロス集計結果（地区別）】

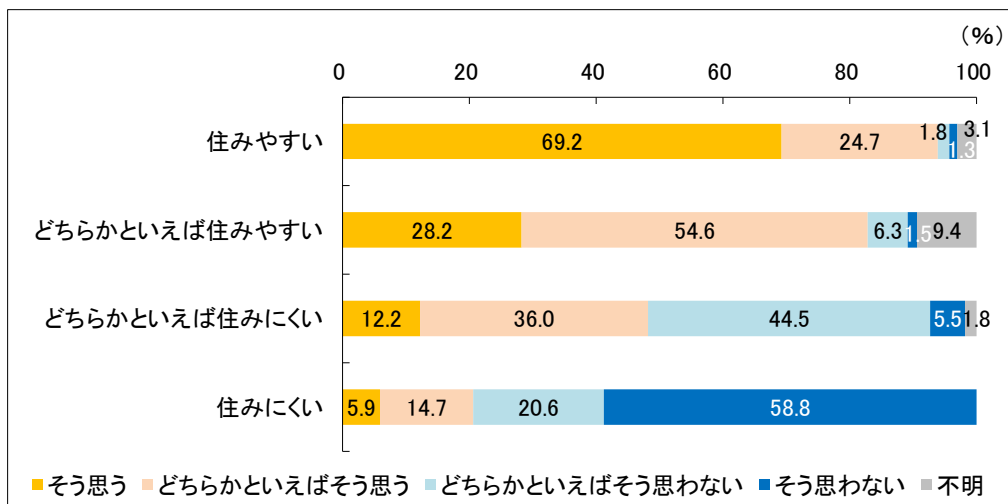
地区別に回答結果を見ると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な回答は各地区において7割超を占めている。特に、下津地区では「そう思う（50.8%）」が半数を占め、他地区よりも割合が高い。



(n : 稲沢=246、小正=185、下津=130、明治=119、千代田=59、大里西=131、大里東=99、祖父江=189、平和=114)

【クロス集計結果：問8（稲沢市の住みやすさ）×問10（稲沢市に住み続けたいか）】

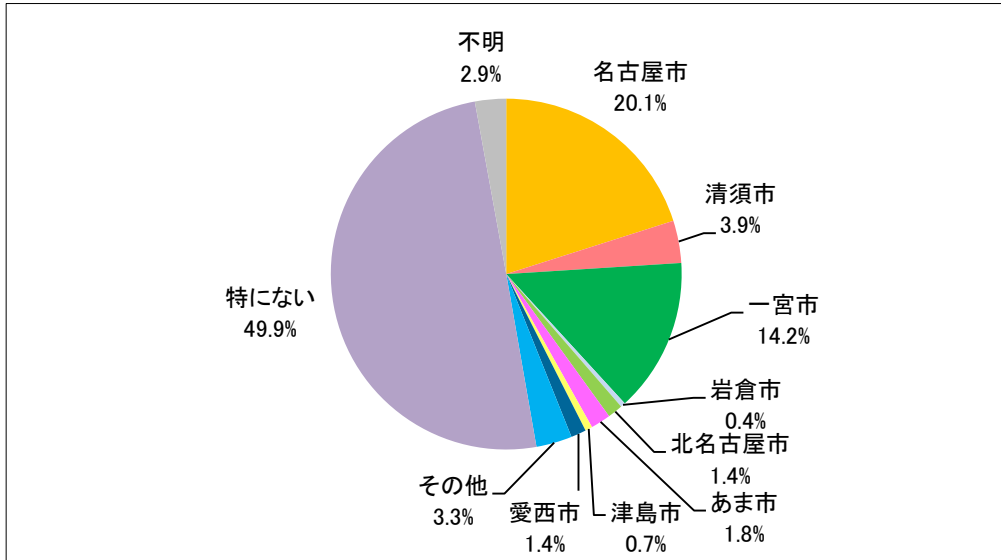
問8の住みやすさに関する評価別で稲沢市の居住継続意向を見ると、稲沢市を「住みやすい」と感じる回答者ほど、今後も稲沢市に住み続ける意向を持つ傾向にある。一方、「住みにくい」を選択した回答者のほとんどが今後も住み続けることについて否定的であるが、「どちらかといえば住みにくい」を選択した回答者についても、5割の回答者が継続して居住することに否定的な意向を示している。



(n : 住みやすい=393、どちらかといえば住みやすい=734、どちらかといえば住みにくい=164、住みにくい=34)

問 11 稲沢市より住みやすそうと思う近隣のまちはありますか。(SA) (結婚・出産・子育て：問 8)

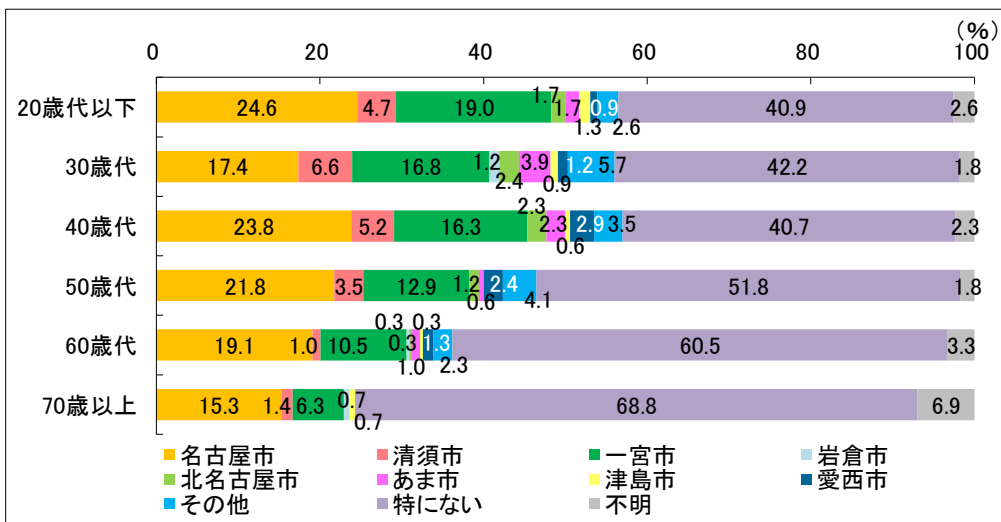
「名古屋市 (20.1%)」が最も高く、次いで「一宮市 (14.2%)」、「清須市 (3.9%)」となっている。なお、「特にない (49.9%)」は5割を占めている。



(n=1,359)

【クロス集計結果 (年代別)】

各年代とも「名古屋市」、「一宮市」の順に高く、40歳代以下で割合が高い傾向にある。これは、40歳代までは就職・結婚・持家取得などの移動が想定されるライフステージにあり、近隣市に関心を持ちやすいためと考えられる。

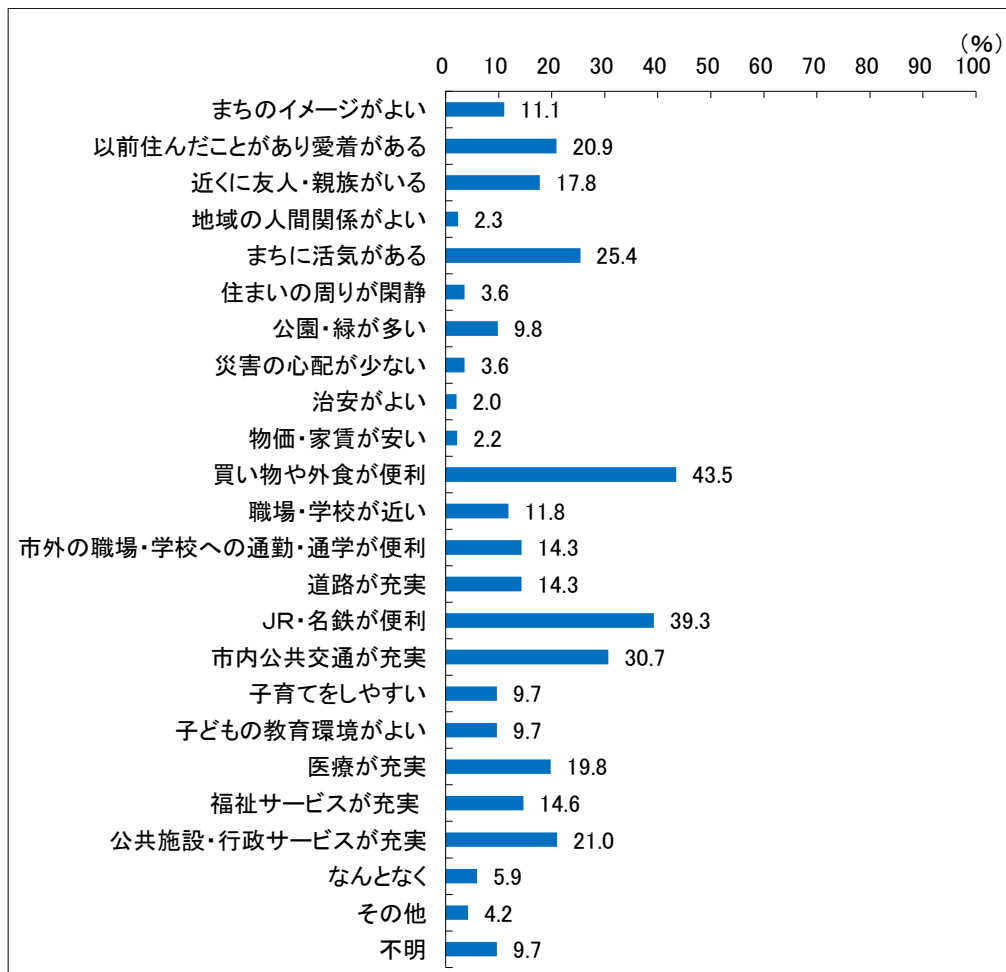


(n : 20歳代以下=232、30歳代=334、40歳代=172、50歳代=170、60歳代=304、70歳以上=144)

(問 11 で「10 特にない」以外を選択した方のみ)

**問 12 なぜ問 11 で選んだまちが住みやすいと思えましたか。(MA：当てはまるもの全て)
(結婚・出産・子育て：問 9)**

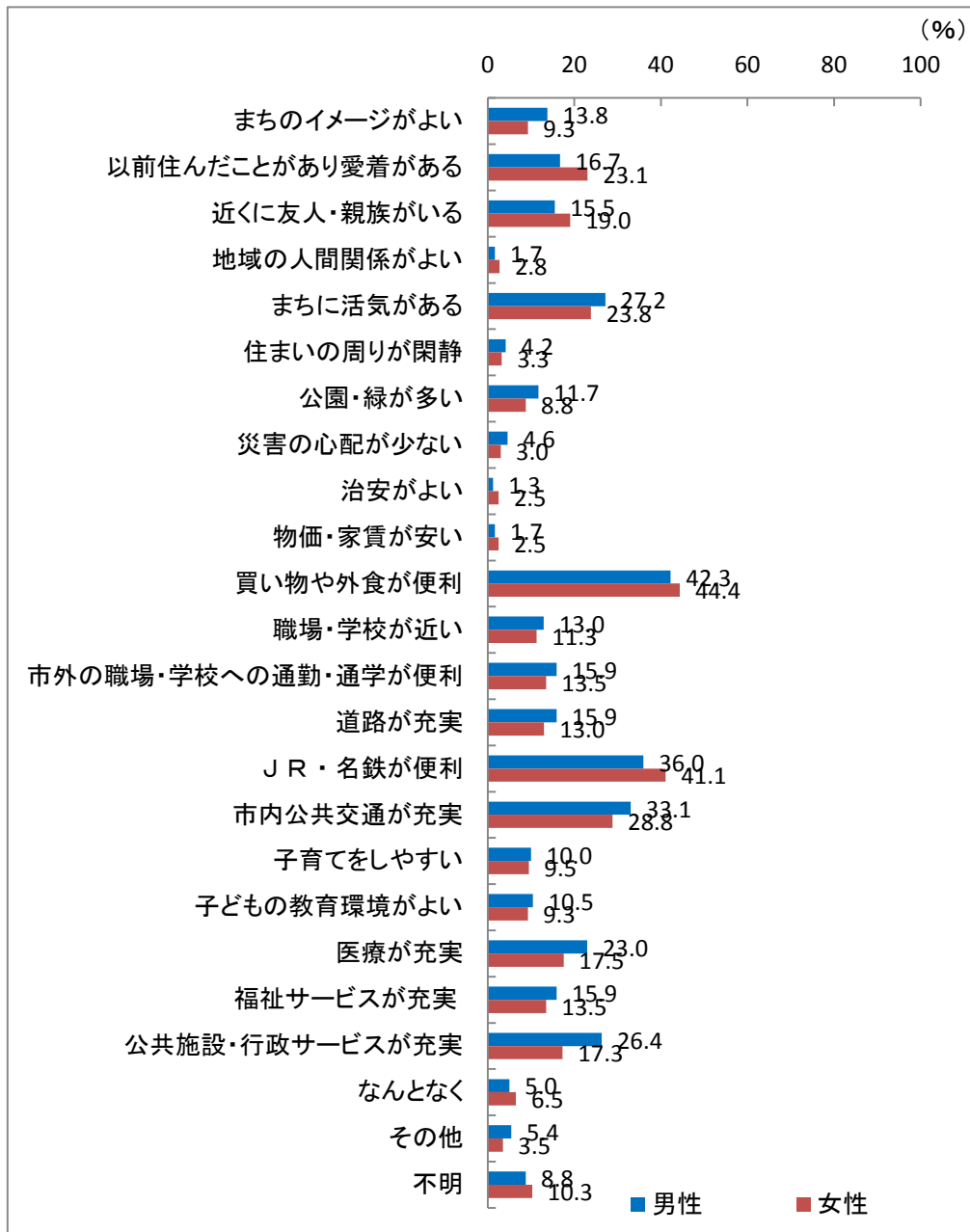
稲沢市よりも近隣のまちが住みやすい理由として、「買い物や外食が便利 (43.5%)」、「JR・名鉄が便利 (39.3%)」、「市内公共交通が充実 (30.7%)」の順に高く、買い物や公共交通の利便性に関する項目の割合が高い。この上位 2 項目については、問 9 (なぜ稲沢市を住みやすいと思えましたか) の上位項目にも現れており、住民が居住地を選ぶ際の重要な判断基準となっていることがうかがえる。



(n= 642)

【クロス集計結果（性別）】

男女別に「稲沢市よりも近隣のまちが住みやすい」理由を見ると、男女とも「買い物や外食が便利（男性：42.3%、女性：44.4%）」が最も高く、次いで「JR・名鉄が便利（男性：36.0%、女性：41.1%）」、「市内公共交通が充実（男性：33.1%、女性：28.8%）」、「まちに活気がある（男性：27.2%、女性：23.8%）」となっている。なお、男女で大きな差が出た項目はなく、性別による回答の違いは見られない。



(n : 男性=239、女性=399)

【クロス集計結果（年齢別）】

年齢別に「稲沢市よりも近隣のまちが住みやすい」理由を見ると、「買い物や外食が便利」、「JR・名鉄が便利」については、60歳代までの各年代での割合が高いが、70歳以上では「医療が充実」、「福祉サービスが充実」、「公共施設・行政サービスが充実」の割合が高い。また、「市内公共交通が充実している」については、50歳代以上で割合が高い傾向にある。一方、子育て世代となる30歳代で「子育てをしやすい」、「子どもの教育環境がよい」の割合が高い傾向にある。

	回答者数	まちのイメージがよい	以前住んだことがあり愛着がある	近くに友人・親族がいる	地域の間人関係がよい	まちに活気がある	住まいの周りが閑静	公園・緑が多い	災害の心配が少ない
全体	642	11.1%	20.9%	17.8%	2.3%	25.4%	3.6%	9.8%	3.6%
20歳代以下	131	9.2%	9.9%	19.1%	0.8%	23.7%	3.1%	4.6%	1.5%
30歳代	187	11.8%	26.2%	21.9%	1.6%	24.6%	4.3%	12.3%	2.1%
40歳代	98	16.3%	22.4%	16.3%	3.1%	28.6%	5.1%	14.3%	2.0%
50歳代	79	11.4%	19.0%	7.6%	3.8%	25.3%	2.5%	13.9%	5.1%
60歳代	110	6.4%	22.7%	17.3%	2.7%	28.2%	2.7%	2.7%	7.3%
70歳以上	35	14.3%	28.6%	20.0%	5.7%	20.0%	2.9%	17.1%	8.6%

	治安がよい	物価・家賃が安い	買い物や外食が便利	職場・学校が近い	市外の職場・学校への通勤・通学が便利	道路が充実	JR・名鉄が便利	市内公共交通が充実
全体	2.0%	2.2%	43.5%	11.8%	14.3%	14.3%	39.3%	30.7%
20歳代以下	1.5%	2.3%	38.2%	21.4%	16.8%	9.2%	42.0%	26.0%
30歳代	2.7%	3.7%	45.5%	12.3%	18.2%	14.4%	40.6%	26.2%
40歳代	0.0%	1.0%	50.0%	9.2%	17.3%	16.3%	40.8%	27.6%
50歳代	2.5%	2.5%	40.5%	13.9%	13.9%	24.1%	36.7%	43.0%
60歳代	1.8%	0.9%	45.5%	3.6%	7.3%	10.0%	38.2%	35.5%
70歳以上	5.7%	0.0%	31.4%	2.9%	0.0%	17.1%	25.7%	40.0%

	子育てをしやすい	子どもの教育環境がよい	医療が充実	福祉サービスが充実	公共施設・行政サービスが充実	なんとなく	その他	不明
全体	9.7%	9.7%	19.8%	14.6%	21.0%	5.9%	4.2%	9.7%
20歳代以下	2.3%	5.3%	3.8%	3.8%	9.9%	8.4%	4.6%	12.2%
30歳代	18.7%	16.0%	18.2%	10.2%	20.9%	5.3%	4.3%	8.6%
40歳代	11.2%	9.2%	22.4%	17.3%	21.4%	7.1%	5.1%	10.2%
50歳代	6.3%	8.9%	29.1%	24.1%	22.8%	6.3%	5.1%	7.6%
60歳代	6.4%	6.4%	28.2%	17.3%	28.2%	3.6%	2.7%	11.8%
70歳以上	2.9%	5.7%	34.3%	42.9%	37.1%	2.9%	2.9%	2.9%

(n= 642)

【クロス集計結果（地区別）】

地区別に「稲沢市よりも近隣のまちが住みやすい」理由を見ると、各地区とも「買い物や外食が便利」の割合が高い傾向にある。また、千代田地区を除く各地区で「JR・名鉄が便利」の割合が高く、下津・千代田・祖父江地区以外で「市内公共交通が充実」の割合が3割超となっている。また、千代田地区では「医療が充実」、「福祉サービスが充実」の割合が他地区よりも低い傾向にあり、他地区に比べて千代田地区は異なる傾向を示している。

	回答者数	まちのイメージがよい	以前住んだことがあり愛着がある	近くに友人・親族がいる	地域の人間関係がよい	まちに活気がある	住まいの周りが閑静	公園・緑が多い	災害の心配が少ない
全体	642	11.1%	20.9%	17.8%	2.3%	25.4%	3.6%	9.8%	3.6%
稲沢	112	12.5%	16.1%	15.2%	0.0%	28.6%	2.7%	8.9%	5.4%
小正	88	11.4%	26.1%	20.5%	2.3%	28.4%	1.1%	3.4%	2.3%
下津	74	17.6%	21.6%	18.9%	2.7%	24.3%	2.7%	10.8%	2.7%
明治	51	11.8%	9.8%	7.8%	5.9%	33.3%	2.0%	9.8%	3.9%
千代田	37	13.5%	10.8%	16.2%	0.0%	27.0%	5.4%	8.1%	2.7%
大里西	58	8.6%	19.0%	17.2%	6.9%	22.4%	5.2%	17.2%	5.2%
大里東	49	10.2%	28.6%	16.3%	4.1%	28.6%	4.1%	14.3%	6.1%
祖父江	84	8.3%	17.9%	20.2%	1.2%	19.0%	3.6%	13.1%	1.2%
平和	54	7.4%	27.8%	16.7%	1.9%	24.1%	5.6%	5.6%	3.7%

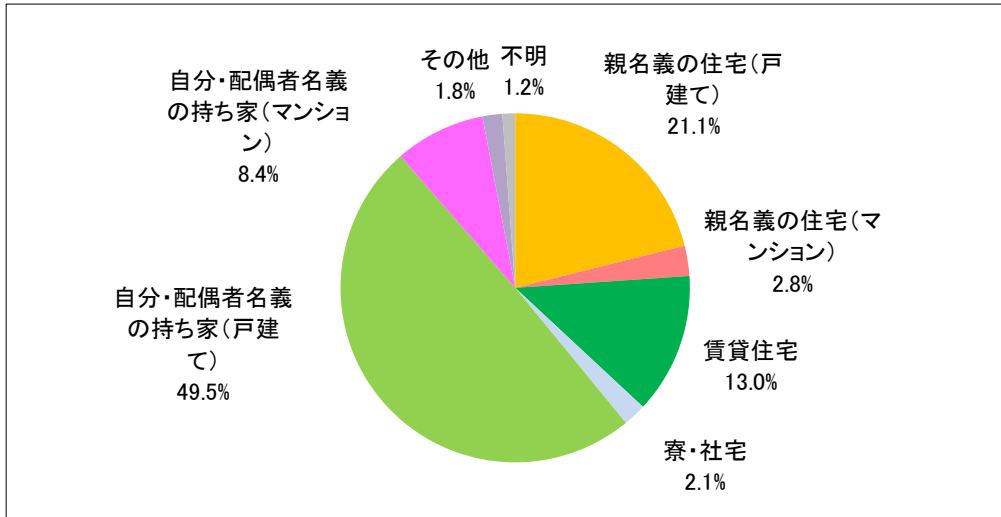
	治安がよい	物価・家賃が安い	買い物や外食が便利	職場・学校が近い	市外の職場・学校への通勤・通学が便利	道路が充実	JR・名鉄が便利	市内公共交通が充実
全体	2.0%	2.2%	43.5%	11.8%	14.3%	14.3%	39.3%	30.7%
稲沢	2.7%	1.8%	42.0%	7.1%	13.4%	17.0%	42.0%	32.1%
小正	3.4%	2.3%	42.0%	11.4%	15.9%	20.5%	37.5%	35.2%
下津	1.4%	0.0%	39.2%	18.9%	9.5%	5.4%	37.8%	24.3%
明治	2.0%	7.8%	49.0%	15.7%	7.8%	17.6%	37.3%	33.3%
千代田	0.0%	0.0%	45.9%	8.1%	13.5%	13.5%	24.3%	21.6%
大里西	1.7%	1.7%	34.5%	13.8%	17.2%	15.5%	41.4%	32.8%
大里東	2.0%	2.0%	40.8%	10.2%	10.2%	12.2%	38.8%	30.6%
祖父江	0.0%	1.2%	50.0%	13.1%	21.4%	15.5%	41.7%	23.8%
平和	5.6%	1.9%	53.7%	5.6%	18.5%	9.3%	44.4%	40.7%

	子育てをしやすい	子どもの教育環境がよい	医療が充実	福祉サービスが充実	公共施設・行政サービスが充実	なんとなく	その他	不明
全体	9.7%	9.7%	19.8%	14.6%	21.0%	5.9%	4.2%	9.7%
稲沢	8.9%	11.6%	18.8%	11.6%	21.4%	7.1%	4.5%	8.0%
小正	11.4%	5.7%	23.9%	15.9%	15.9%	3.4%	4.5%	9.1%
下津	8.1%	16.2%	14.9%	12.2%	25.7%	5.4%	8.1%	10.8%
明治	13.7%	7.8%	29.4%	21.6%	29.4%	13.7%	2.0%	3.9%
千代田	8.1%	10.8%	8.1%	8.1%	21.6%	2.7%	2.7%	13.5%
大里西	12.1%	15.5%	34.5%	20.7%	25.9%	5.2%	0.0%	10.3%
大里東	12.2%	10.2%	22.4%	18.4%	26.5%	12.2%	8.2%	8.2%
祖父江	7.1%	6.0%	11.9%	11.9%	10.7%	3.6%	4.8%	17.9%
平和	9.3%	9.3%	20.4%	20.4%	20.4%	1.9%	1.9%	5.6%

(n= 642)

問 13 あなたの現在の住まいについて選んでください。(SA) (結婚・出産・子育て：問 10)

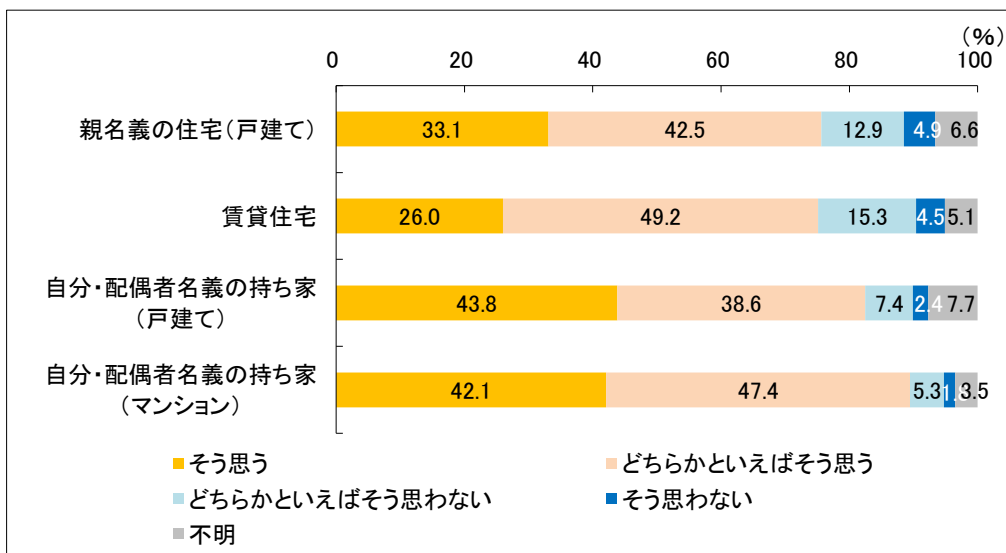
「自分・配偶者名義の持ち家（戸建て）（49.5%）」が最も高く、次いで「親名義の住宅（戸建て）（21.1%）」、「賃貸住宅（13.0%）」となっている。



(n=1,359)

【クロス集計結果：問 13（現在の住まい） × 問 10（稲沢市に住み続けたいか）】

現在の住まい別に稲沢市の居住継続意向を見ると、自分・配偶者名義の持ち家に居住する回答者ほど、居住継続意向が高く、戸建てに比べてマンションでその傾向が強い。

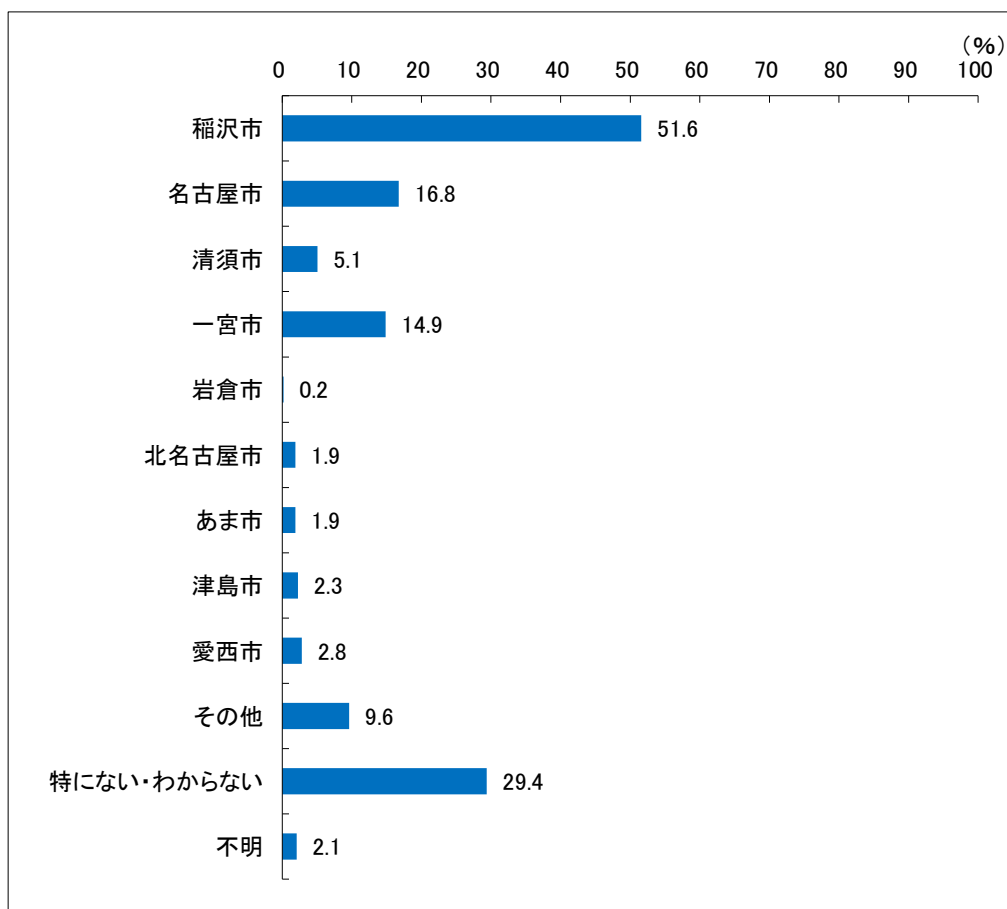


(n：親名義の住宅（戸建て） = 287、賃貸住宅 = 177、
自分・配偶者名義の持ち家（戸建て） = 673、
自分・配偶者名義の持ち家（マンション） = 114)

(問 13で「1 親名義の住宅」～「4 寮・社宅」を選択した方のみ)

問 14 将来、自分または配偶者名義の持ち家をもつとしたら、どこが候補になりますか。(MA：3つまで) (結婚・出産・子育て：問 11)

将来の自分または配偶者名義の持ち家を持つ候補地としては、「稲沢市」が51.6%と突出して高く、稲沢市内へ住みつづけることを検討する回答が半数を占めている。次いで「名古屋市(16.8%)」、「一宮市(14.9%)」、「清須市(5.1%)」となっている。これら3市は問11(住みやすそうと思う近隣のまち)の上位3市と一致しており、住みやすいまちと認知されることは、持ち家を所有するための候補地になることにつながる事が伺える。なお、「特にない・わからない(29.4%)」は約3割を占めている。

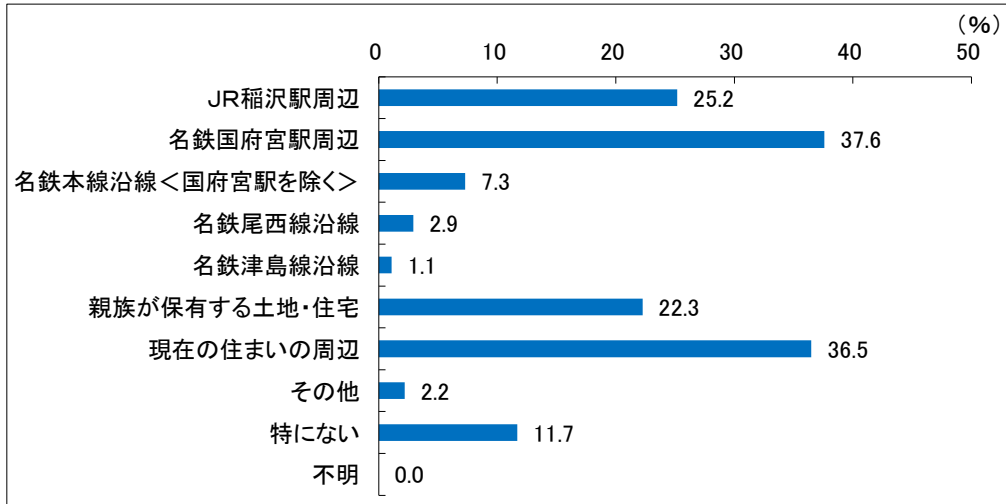


(n= 531)

(問 14 で「1 稲沢市」を選択した方のみ)

問 15 稲沢市内のどこに住みたいか希望や予定がありますか。(MA：2つまで)
(結婚・出産・子育て：問 12)

稲沢市内における居住希望地は、「名鉄国府宮駅周辺 (37.6%)」が最も高いものの、同程度の割合で「現在の住まいの周辺 (36.5%)」が続いている。また、「JR 稲沢駅周辺 (25.2%)」、「親族が保有する土地・住宅 (22.3%)」についても 2 割超となっている。



(n=274)

【クロス集計結果 (地区別)】

地区別に回答結果を見ると、「JR 稲沢駅周辺」は小正・下津地区の割合が、「名鉄国府宮駅周辺」は稲沢・小正地区の割合が他の地区に比べて突出している。また、各地区とも「現在の住まいの周辺」の割合が高いものの、稲沢・小正・下津地区の割合は他地区に比べて低く、駅周辺のより利便性の高い場所での居住を希望する傾向にある。なお、「親族が保有する土地・住宅」は、下津・明治・祖父江・平和地区で 3 割超の高い割合を示している。

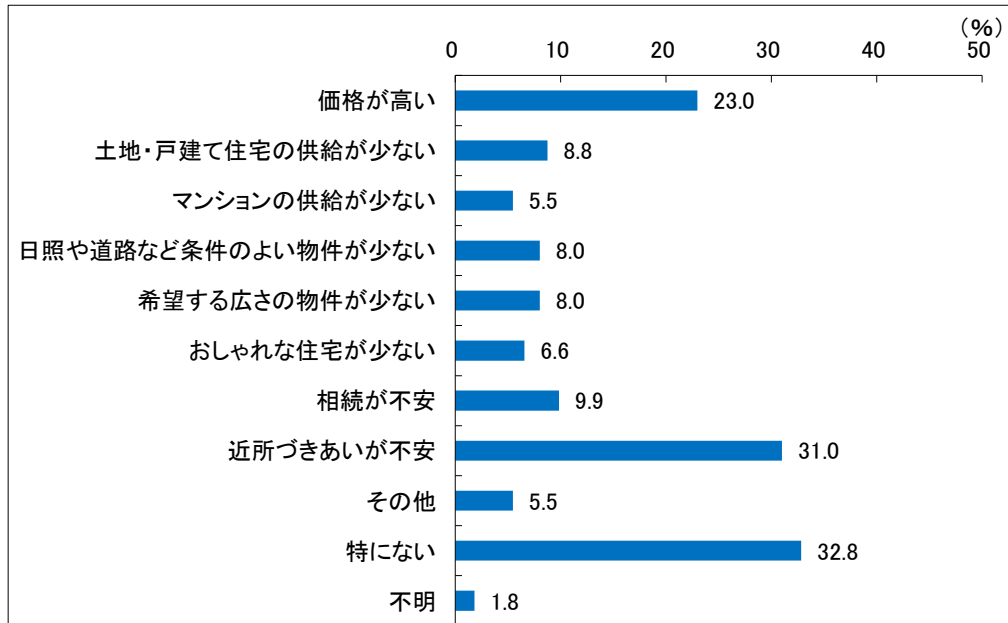
	回答者数	J R 稲沢 駅周辺	名鉄国府 宮駅周辺	名鉄本線 沿線<国 府宮駅を 除く>	名鉄尾西 線沿線	名鉄津島 線沿線	親族が保 有する土 地・住宅	現在の住 まいの周 辺	その他	特にない	不明
全体	274	25.2%	37.6%	7.3%	2.9%	1.1%	22.3%	36.5%	2.2%	11.7%	0.0%
稲沢	60	20.0%	58.3%	1.7%	1.7%	0.0%	15.0%	28.3%	3.3%	15.0%	0.0%
小正	42	50.0%	50.0%	4.8%	0.0%	0.0%	11.9%	28.6%	2.4%	4.8%	0.0%
下津	22	45.5%	31.8%	13.6%	0.0%	0.0%	31.8%	31.8%	0.0%	0.0%	0.0%
明治	29	10.3%	20.7%	3.4%	3.4%	0.0%	37.9%	55.2%	0.0%	10.3%	0.0%
千代田	9	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	22.2%	0.0%
大里西	24	16.7%	29.2%	25.0%	0.0%	4.2%	16.7%	41.7%	4.2%	8.3%	0.0%
大里東	19	26.3%	26.3%	10.5%	0.0%	0.0%	10.5%	36.8%	10.5%	15.8%	0.0%
祖父江	29	10.3%	24.1%	0.0%	17.2%	0.0%	34.5%	34.5%	0.0%	20.7%	0.0%
平和	17	11.8%	11.8%	11.8%	0.0%	5.9%	41.2%	58.8%	0.0%	17.6%	0.0%

(n=274)

(問 14 で「1 稲沢市」を選択した方のみ)

問 16 稲沢市内で住宅を探す際に不安に思うことはありますか。(MA：2つまで)
(結婚・出産・子育て：問 13)

稲沢市内で住宅を探す際の不安としては「近所づきあいが不安 (31.0%)」が最も高く、次いで「価格が高い (23.0%)」となっている。なお、「特にない (32.8%)」が3割超を占める。

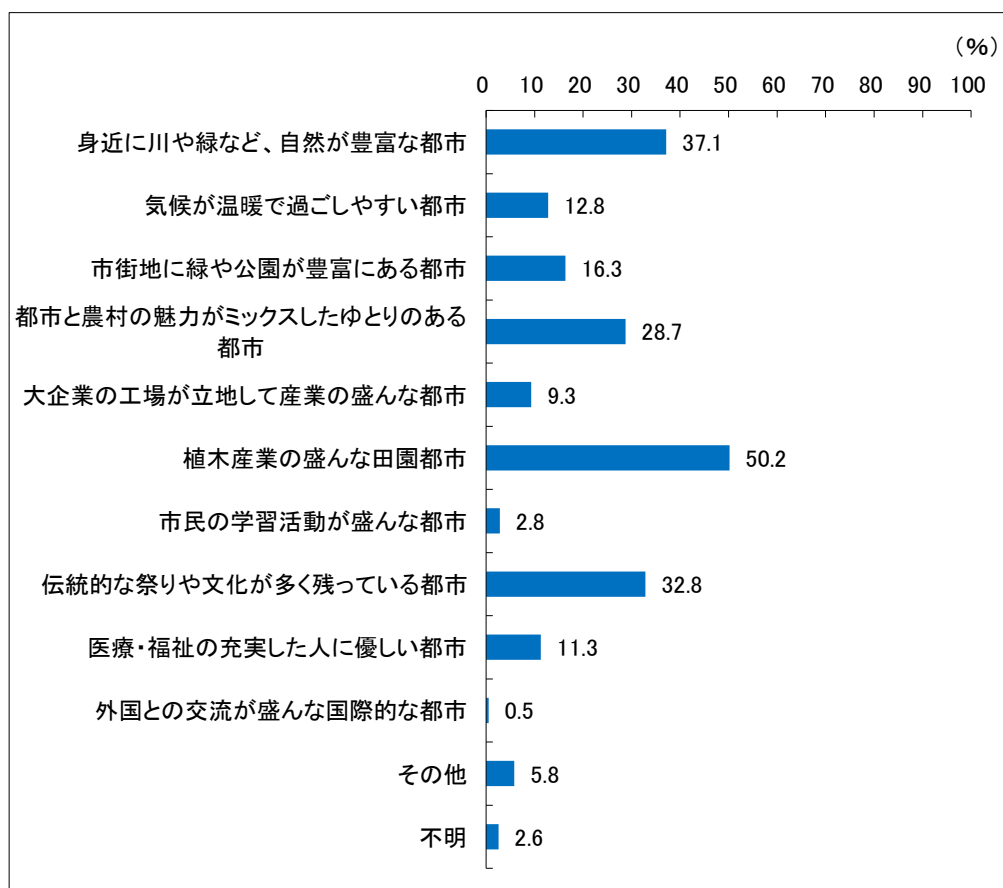


(n=274)

将来のまちづくりについて

問 17 稲沢市について、現状ではどのような都市イメージを持っていますか。(MA：3つまで)

稲沢市のイメージとして「植木産業の盛んな田園都市 (50.2%)」が最も多く、次いで「伝統的な祭りや文化が多く残っている都市 (32.8%)」、「身近に川や緑など、自然が豊富な都市 (37.1%)」、「都市と農村の魅力がミックスしたゆとりある都市 (28.7%)」となっており、自然や伝統に関する項目が選択される傾向にある。

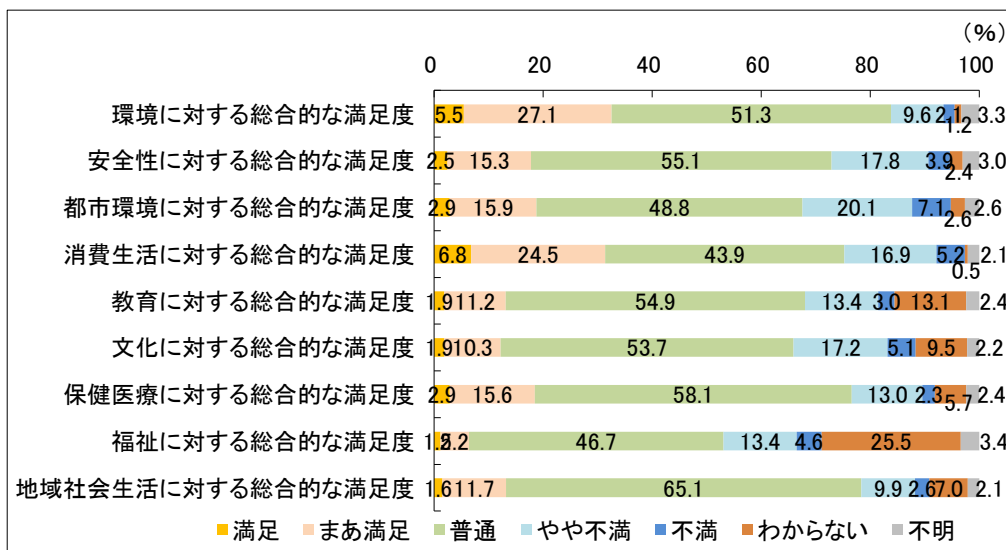


(n= 1,096)

問 18 今住んでいる地域の生活環境についてどの程度満足していますか。次の各項目について1(満足)から6(わからない)のうち、あてはまるものそれぞれ1つに○印をつけてください。

【総合的な満足度】

環境、安全性などの分野毎の総合的な満足度を見ると、「満足」、「まあ満足」を合わせた割合は「環境(32.6%)」「消費生活(31.4%)」の順に高い。「やや不満」、「不満」を合わせた割合は、「都市環境(27.2%)」、「文化(22.4%)」、「消費生活(22.1%)」、「安全性(21.7%)」の順に高い。なお、「わからない」の割合は「福祉(25.5%)」が高い。



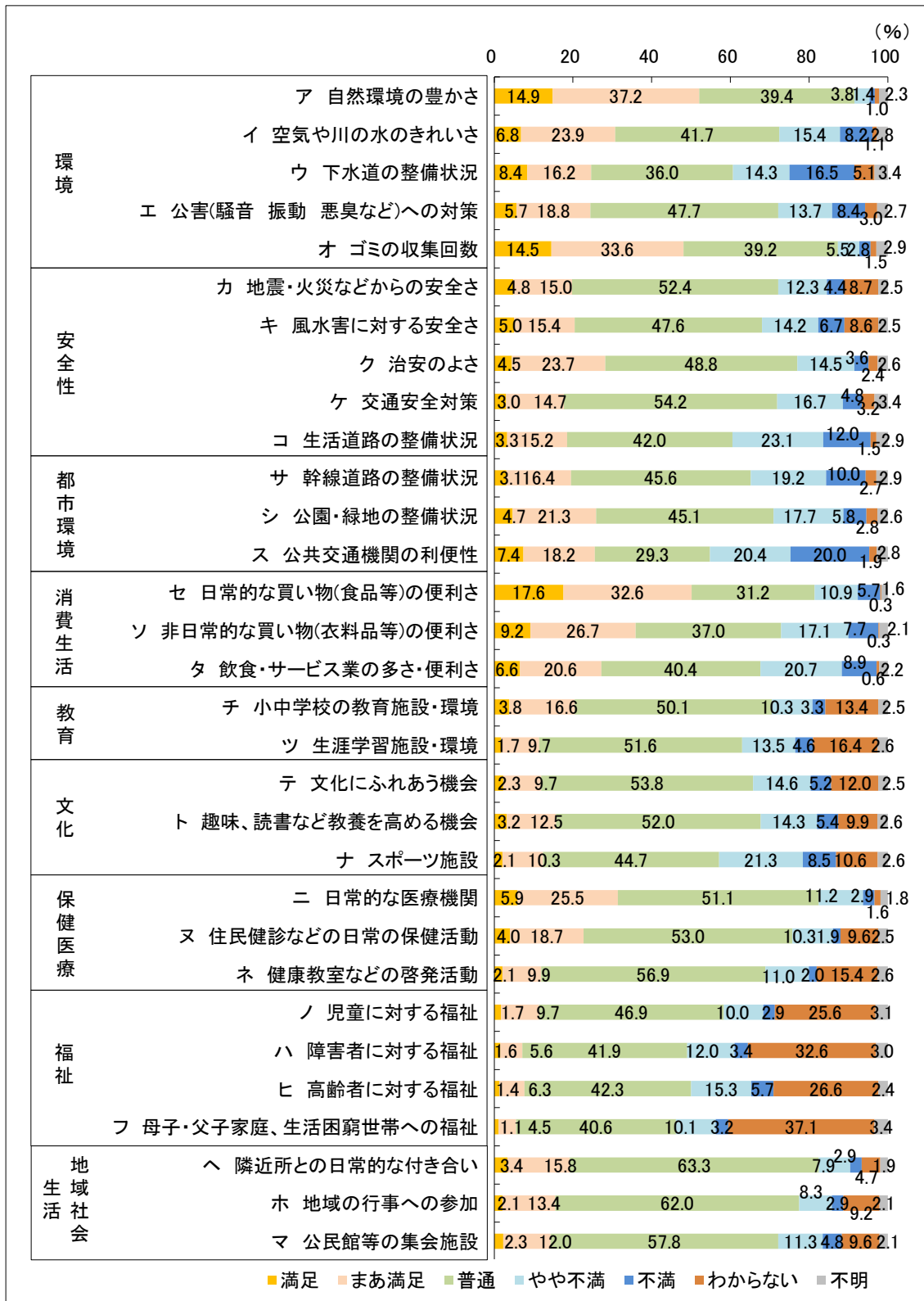
(n= 1,096)

【項目別の満足度】

個別の項目を見ると、「満足」及び「まあ満足」の回答割合が高い項目は、「ア 自然環境の豊かさ(52.1%)」、「セ 日常的な買い物(食品等)の便利さ(50.2%)」、「オ ゴミの収集回数(48.1%)」が挙げられる。

一方、「不満」及び「やや不満」の回答割合が高い項目は、「ス 公共交通機関の利便性(40.4%)」、「コ 生活道路の整備状況(35.1%)」、「ウ 下水道の整備状況(30.8%)」、「ナ スポーツ施設(29.7%)」、「タ 飲食・サービス業の多さ・便利さ(29.6%)」が挙げられる。

「分からない」の回答割合が高い項目は、「フ 母子・父子家庭、生活困窮世帯への福祉(37.1%)」、「ハ 障害者に対する福祉(32.6%)」、「ヒ 高齢者に対する福祉(26.6%)」、「ノ 児童に対する福祉(25.6%)」といった福祉分野の項目が挙げられる。

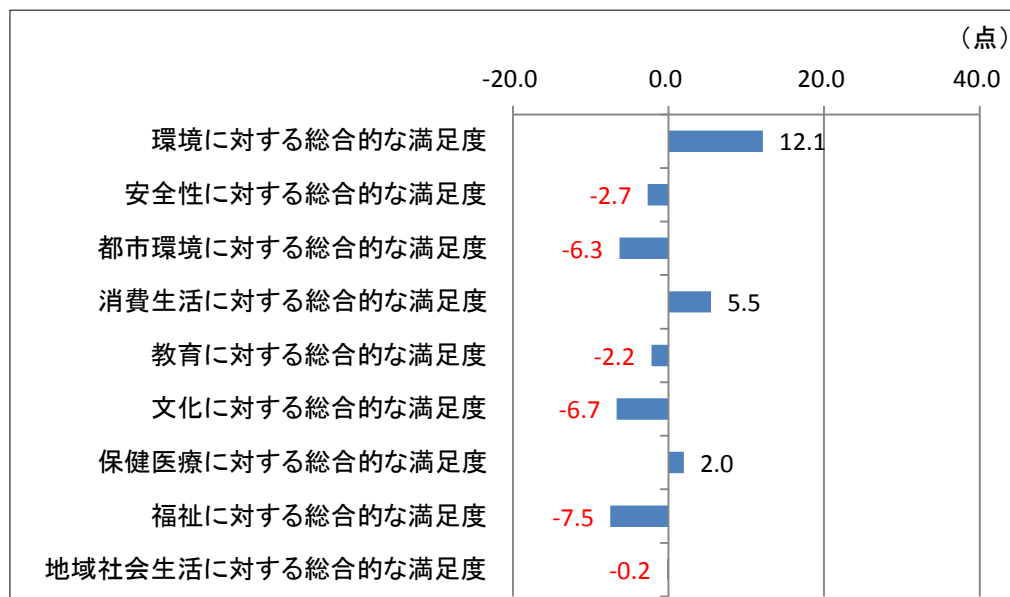


(n= 1,096)

【総合的な満足度（得点換算）】

環境、安全性などの分野毎の総合的な満足度を見ると、プラス評価では「環境（12.1点）」が最も高く、次いで「消費生活（5.5点）」、「保健医療（2.0点）」となっている。一方、マイナス評価となった分野は9分野中6分野を占め、「福祉（-7.5点）」、「文化（-6.7点）」、「都市環境（-6.3点）」の評価が低い。

【得点化*】 総合的な満足度（-100点～100点に換算）



(n= 1,096)

※得点の算出方法

$$\text{得点} = \text{「満足（％）」} \times 1.0 + \text{「まあ満足（％）」} \times 0.5 + \text{「やや不満」} \times (-0.5) \\ + \text{「不満（％）」} \times (-1.0)$$

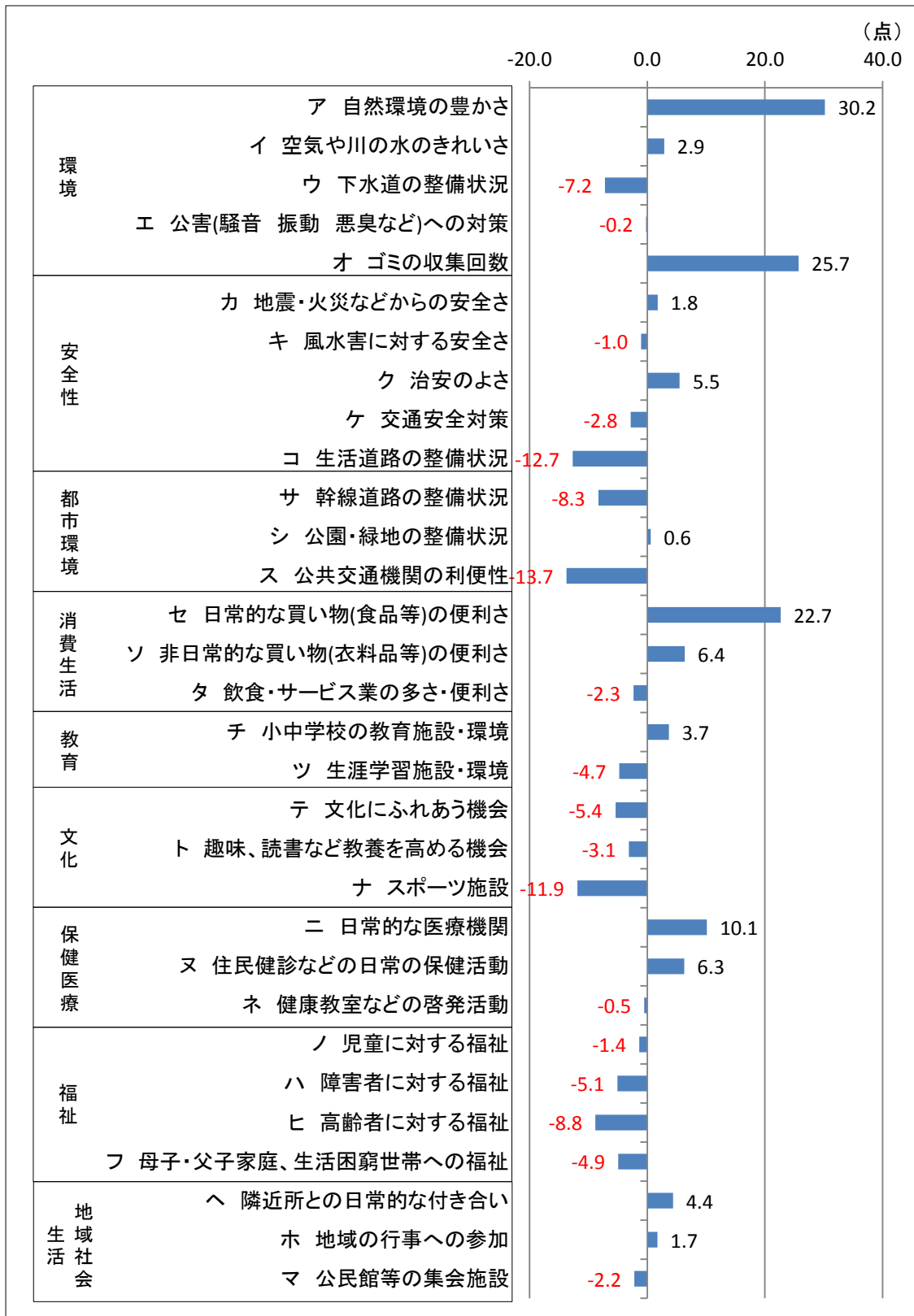
全ての回答者が、「満足」を選択すれば得点は100点、「不満」を選択すれば-100点となり、得点がプラスとなれば「満足」や「やや満足」という肯定的な評価の方が多くと見ることができる

【項目別の満足度（得点換算）】

個別の項目を見ると、得点が高い主な項目としては「ア 自然環境の豊かさ（30.2点）」、「オ ゴみの収集回数（25.7点）」、「セ 日常的な買い物(食品等)の便利さ（22.7点）」が挙げられる。しかし、プラスとなる項目は、全31項目中7項目と2割程しかなく、全般的に不満が多いことが読みとれる。

特に、得点の低い項目としては、「ス 公共交通機関の利便性（-13.7点）」、「コ 生活道路の整備状況（-12.7点）」、「ナ スポーツ施設（-11.9点）」が挙げられる。

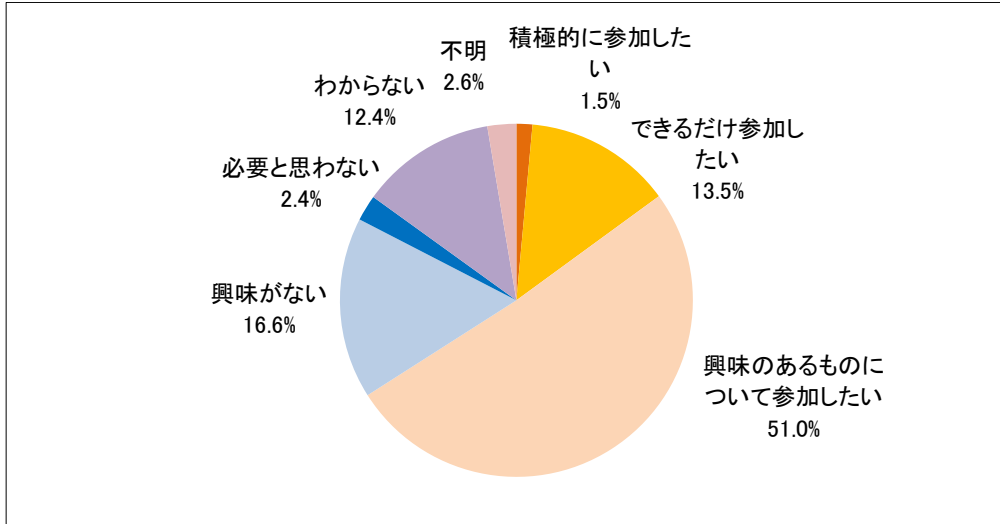
【得点化】各項目の満足度（-100点～100点に換算）



(n= 1,096)

問 19 市民参加のまちづくりについてどのようにお考えですか。(SA)

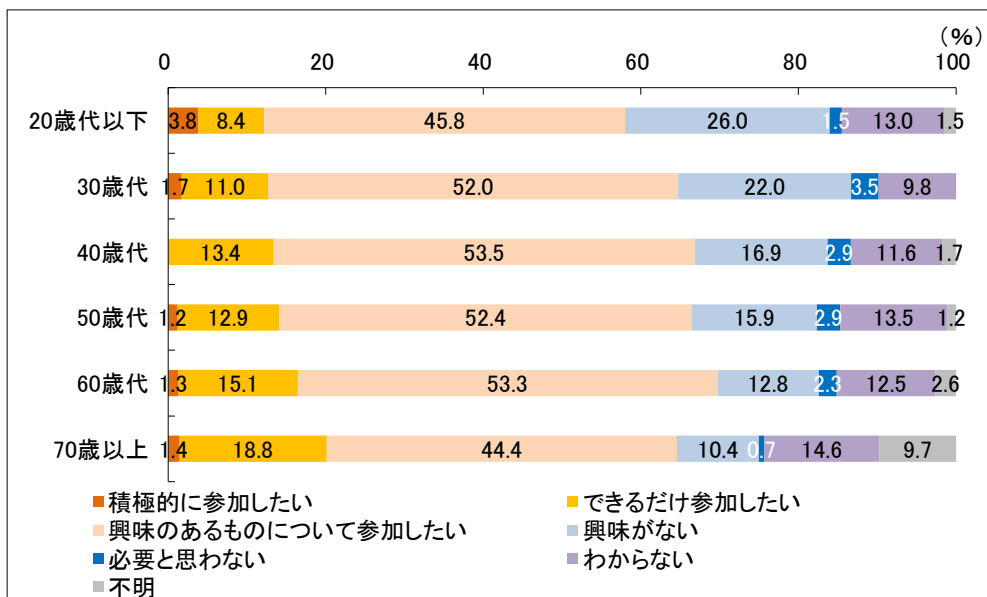
「積極的に参加したい (1.5%)」、「できるだけ参加したい (13.5%)」、「興味のあるものについて参加したい (51.0%)」といった、肯定的な回答の割合が 6 割を占める。また、肯定的な回答のうち「興味のあるものについて参加したい」との回答が最も多いことから、個人の志向に合った市民参画テーマの選定や、興味を引くようなプログラム構築などが求められている。



(n= 1,096)

【クロス集計 (年代別)】

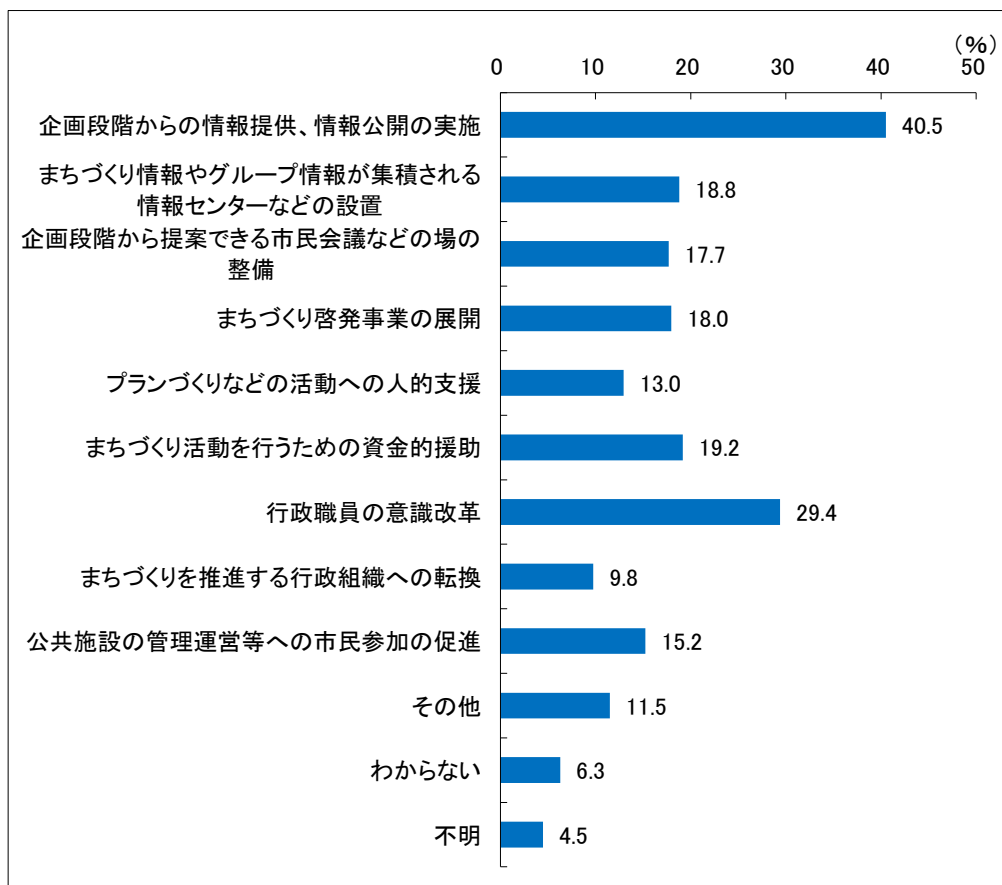
年代別に回答結果を見ると、若い世代ほど「興味がない」の回答割合が高く、若い世代がまちづくりに関心を持てるような取り組みが必要である。また、年齢層が高くなるほど「興味がない」、「必要と思わない」という回答割合は減り、参加したい意向は相対的に高くなることから、参加を誘導するための仕掛けづくりも必要である。



(n : 20歳代以下=131、30歳代=173、40歳代=172、50歳代=170、60歳代=304、70歳以上=144)

問 20 まちづくりへの市民参加の促進を図っていくためには、行政はどんな取り組みをしていくべきとお考えですか。(MA：3つまで)

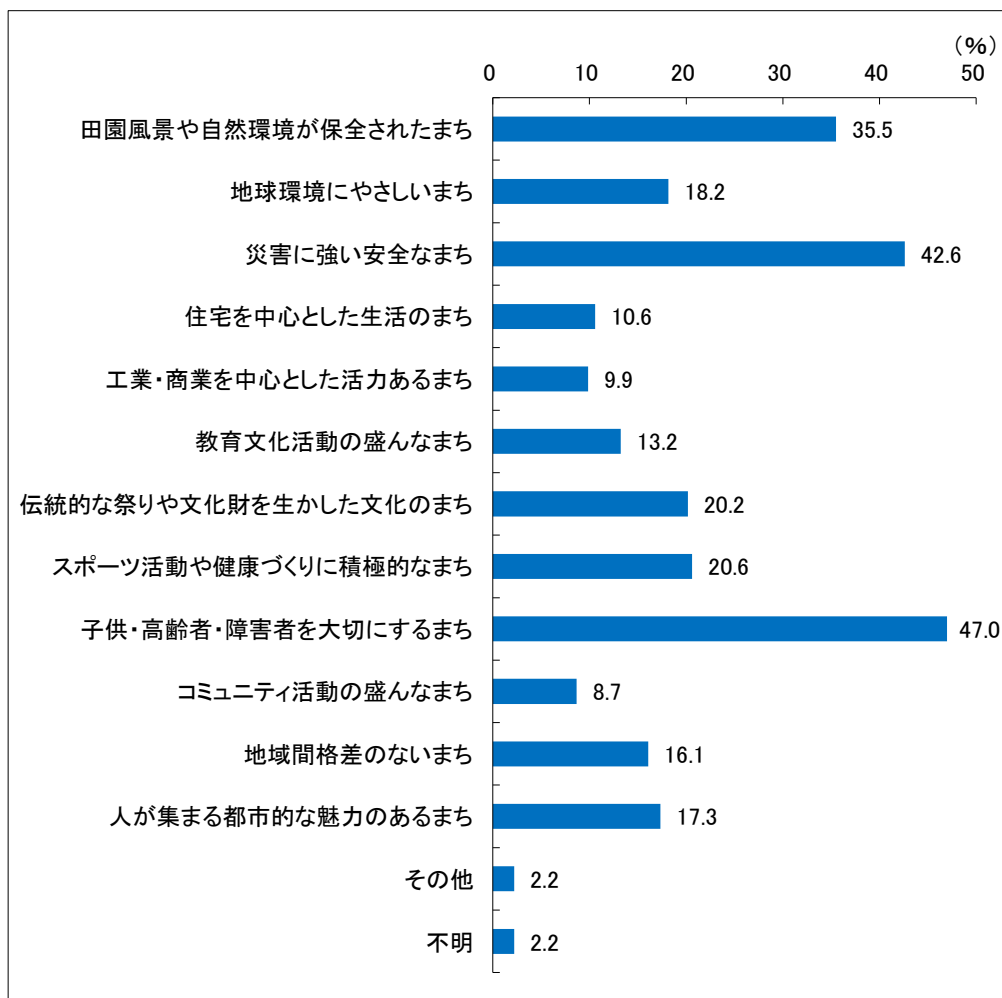
市民参画の促進に向けた取り組みとして、「企画段階からの情報提供、情報公開の実施（40.5%）」が最も高く、次いで「行政職員の意識改革（29.4%）」、「まちづくり活動を行うための資金的援助（19.2%）」、「まちづくり情報やグループ情報が集積される情報センターなどの設置（18.8%）」となっている。



(n= 1,096)

問 21 稲沢市が今後どのようなまちとして発展したらよいと思いますか。(MA：3つまで)

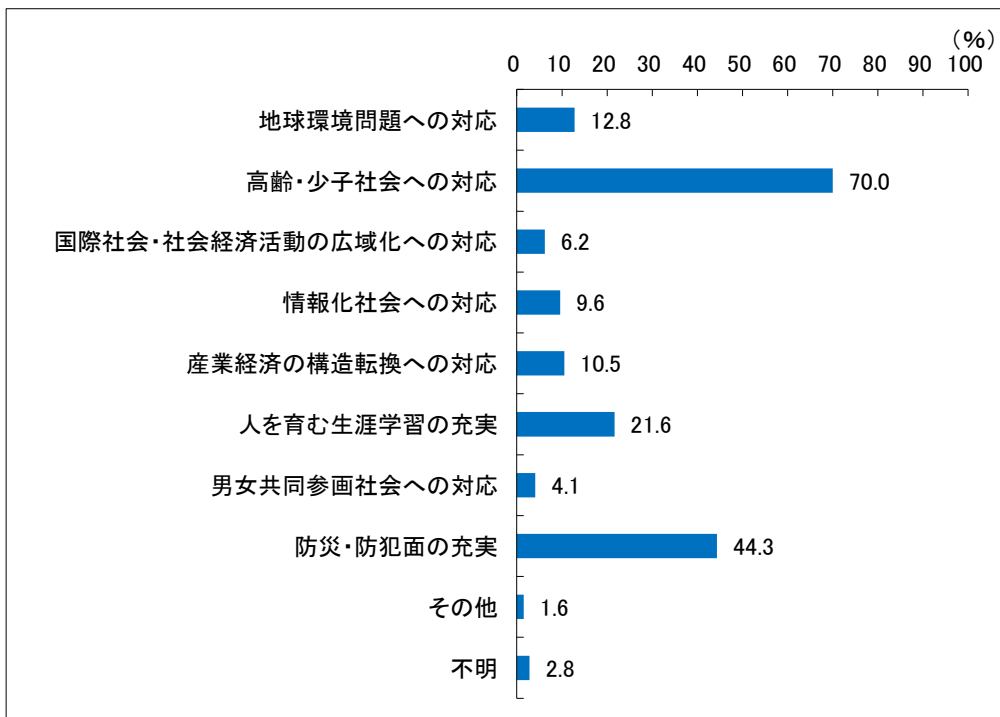
稲沢市が今後発展するための町の姿として、「子供・高齢者・障害者を大切にするまち（47.0%）」、「災害に強い安全なまち（42.6%）」、「田園風景や自然環境が保全されたまち（35.5%）」の3項目が、他の項目と比較して高い割合を占めており、福祉・災害・自然に配慮した発展が望まれている。



(n= 1,096)

問 22 将来の社会変革の中でも特に重要かつ優先的に稲沢市が対応すべきものは何であると思いますか。(MA：2つまで)

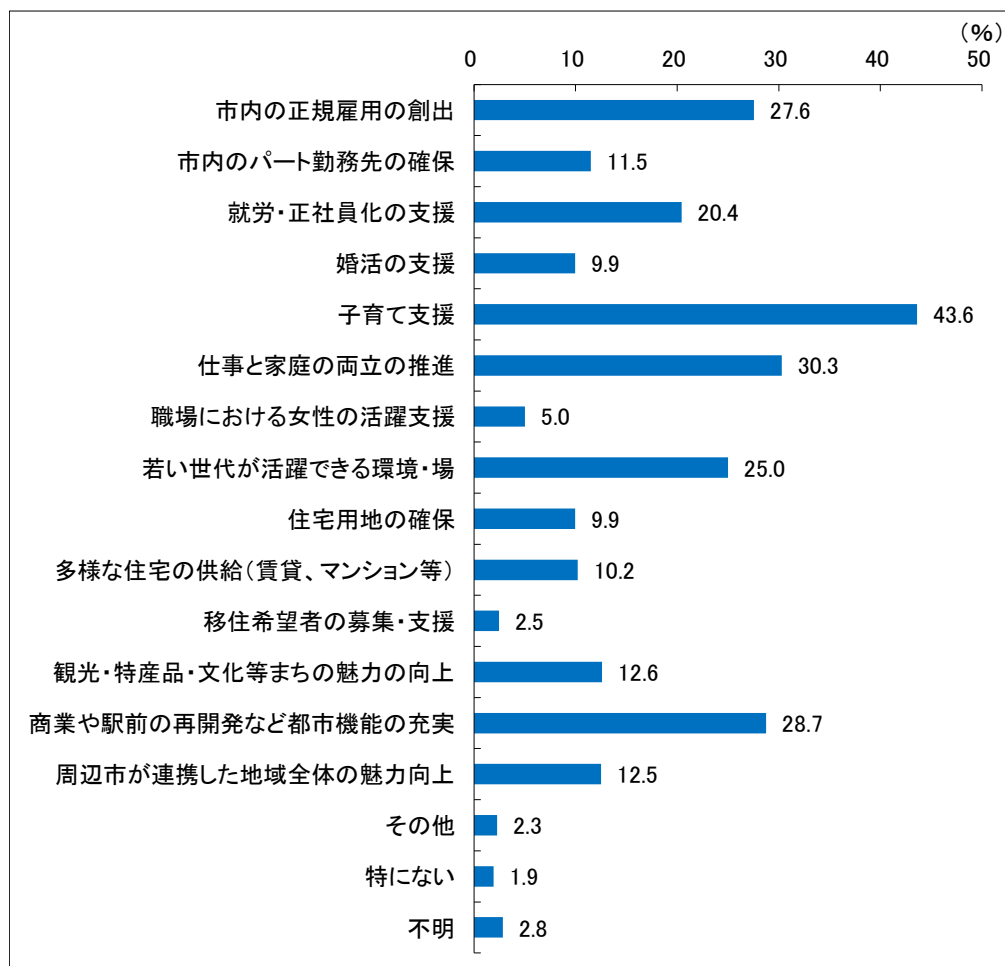
将来の社会変革の中で稲沢市が重要かつ優先的に対応すべきものとして「高齢・少子社会への対応(70.0%)」が突出して高く、次いで「防災・防犯面の充実(44.3%)」、「人を育む生涯学習の充実(21.6%)」となっている。



(n= 1,096)

問 23 若い世代にとって暮らしやすい稲沢市をつくるために、どのようなことを充実する必要があるとお考えですか。(MA：3つまで)

若い世代が暮らしやすくなるために充実すべきこととして、「子育て支援（43.6%）」が最も高く、次いで「仕事と家庭の両立の推進（30.3%）」、「商業や駅前の再開発など都市機能の充実（28.7%）」、「市内の正規雇用の創出（27.6%）」となっている。



(n= 1,096)

【クロス集計（年代別）】

年代別に「若い世代にとって暮らしやすい稲沢市をつくるために充実すべきこと」の回答結果を見ると、70歳以上を除く各世代で「子育て支援」の割合が最も高く、特に30～50歳代での割合が高くなっている。また、50歳代以下では「商業や駅前の再開発など都市機能の充実」の割合も高く、20歳代以下では最も高い割合を示している。なお、60歳代以上では、「市内の正規雇用の創出」、「若い世代が活躍出来る環境・場」の割合が高くなっており、当事者である若い世代と回答にギャップがある。

	回答者数	市内の正規雇用の創出	市内のパート勤務先の確保	就労・正社員化の支援	婚活の支援	子育て支援	仕事と家庭の両立の推進	職場における女性の活躍支援	若い世代が活躍できる環境・場	住宅用地の確保
全体	1094人	27.6%	11.5%	20.4%	9.9%	43.6%	30.3%	5.0%	25.0%	9.9%
20歳代以下	131人	21.4%	6.9%	22.1%	9.2%	39.7%	27.5%	7.6%	29.0%	6.1%
30歳代	173人	21.4%	13.3%	17.3%	4.6%	65.3%	41.6%	8.1%	13.3%	12.1%
40歳代	172人	26.7%	15.1%	16.9%	3.5%	50.0%	35.5%	4.1%	23.3%	11.6%
50歳代	170人	24.7%	11.8%	22.9%	12.9%	47.1%	26.5%	4.7%	22.4%	9.4%
60歳代	304人	33.2%	11.5%	21.4%	12.8%	38.5%	28.3%	3.6%	28.9%	9.9%
70歳以上	144人	32.6%	8.3%	22.2%	14.6%	20.1%	21.5%	3.5%	32.6%	9.7%

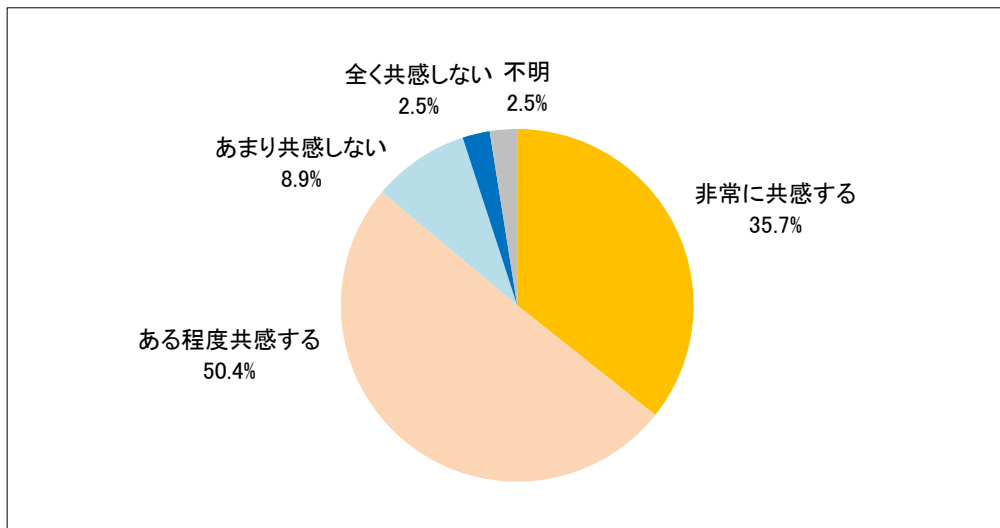
	多様な住宅の供給(賃貸、マンション等)	移住希望者の募集・支援	観光・特産品・文化等まちの魅力の向上	商業や駅前の再開発など都市機能の充実	周辺市が連携した地域全体の魅力向上	その他	特にない	不明
全体	10.2%	2.5%	12.6%	28.7%	12.5%	2.3%	1.9%	2.8%
20歳代以下	13.0%	1.5%	9.2%	40.5%	7.6%	4.6%	3.1%	1.5%
30歳代	12.7%	0.0%	11.6%	31.8%	11.0%	3.5%	0.6%	0.0%
40歳代	13.4%	2.3%	11.6%	32.6%	11.6%	2.3%	1.2%	1.2%
50歳代	11.8%	1.8%	12.4%	30.0%	12.4%	2.4%	1.2%	1.8%
60歳代	6.9%	3.0%	13.8%	24.3%	16.1%	1.0%	1.3%	2.3%
70歳以上	6.3%	6.3%	15.3%	18.1%	12.5%	1.4%	5.6%	11.8%

(n= 1,094)

将来のまちづくりについて

問 24 「仕事と家庭の両立を図ることが、若い世代の子どもを産み育てやすい環境につながる」という考えについて、どのようにお考えですか。(SA) (結婚・出産・子育て：問 32)

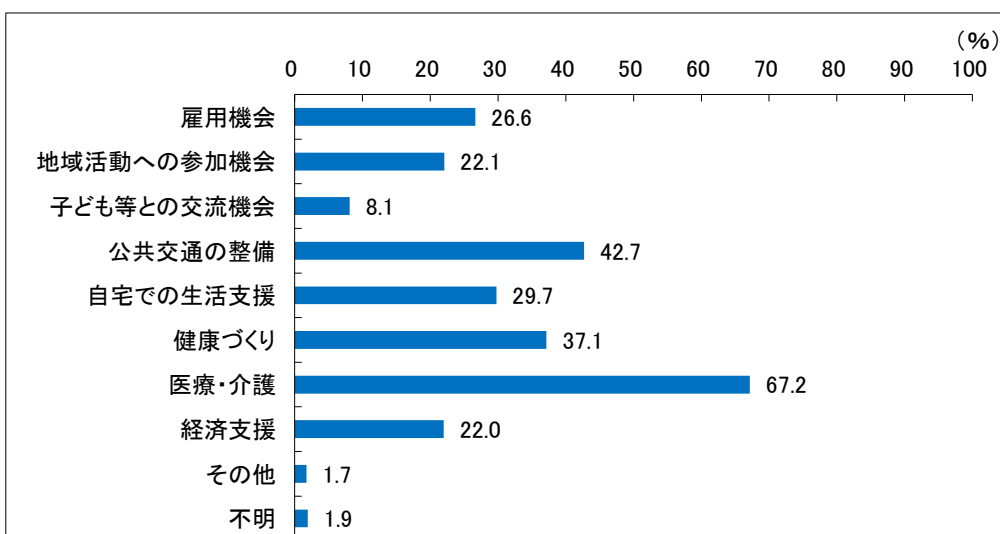
「非常に共感する (35.7%)」、「ある程度共感する (50.4%)」を合わせて 8 割超であり、「仕事と家庭の両立」が 出産・育児の環境改善に繋がると、稲沢市では認識されている傾向がうかがえる。



(n=1,359)

問 25 高齢世代にとって暮らしやすい稲沢市をつくるために、どのようなことを充実する必要があるとお考えですか。(MA：3つまで)

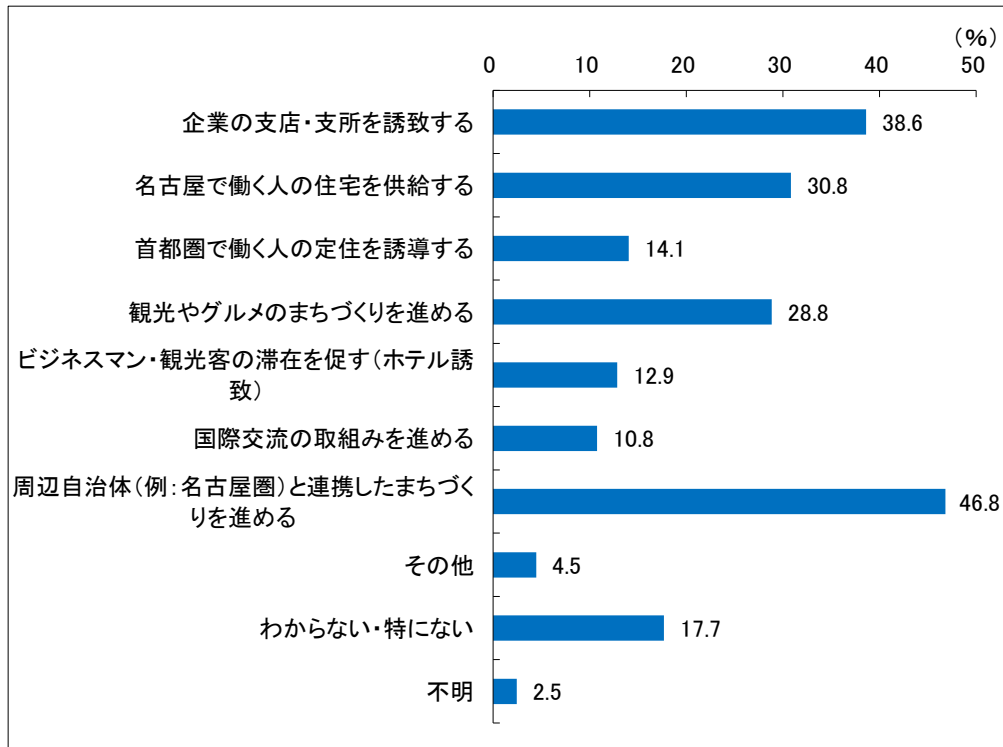
高齢世代が暮らしやすくなるために充実させるべき事項として、「医療・介護 (67.2%)」が最も高く、次いで「公共交通の整備 (42.7%)」、「健康づくり (37.1%)」となっている。



(n= 1,096)

問 26 今後、リニア中央新幹線の開通に向けて稲沢市では、どのような取り組みをすべきと思いますか。(MA：3つまで)

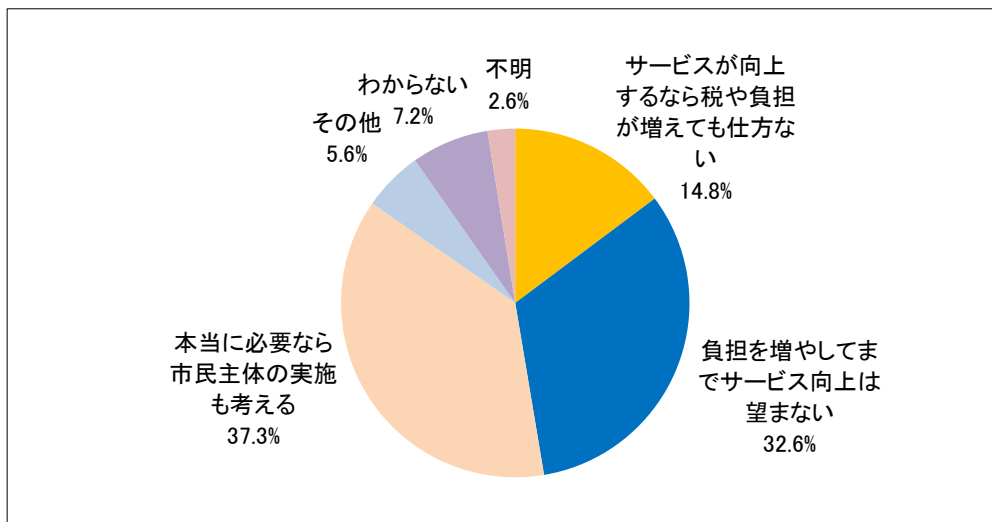
リニア中央新幹線の開通に向けた取り組みとして、「周辺自治体（例：名古屋圏）と連携したまちづくりを進める（46.8%）」が最も高く、次いで「企業の支店・支所を誘致する（38.6%）」、「名古屋で働く人の住宅を供給する（30.8%）」、「名古屋で働く人の住宅を供給する（30.8%）」、「観光やグルメのまちづくりを進める（28.8%）」となっている。



(n= 1,096)

問 27 新たな施設の整備や市民福祉の向上を図るためには、市民の負担が増える可能性もありますが、これについてあなたはどのようにお考えですか。(SA)

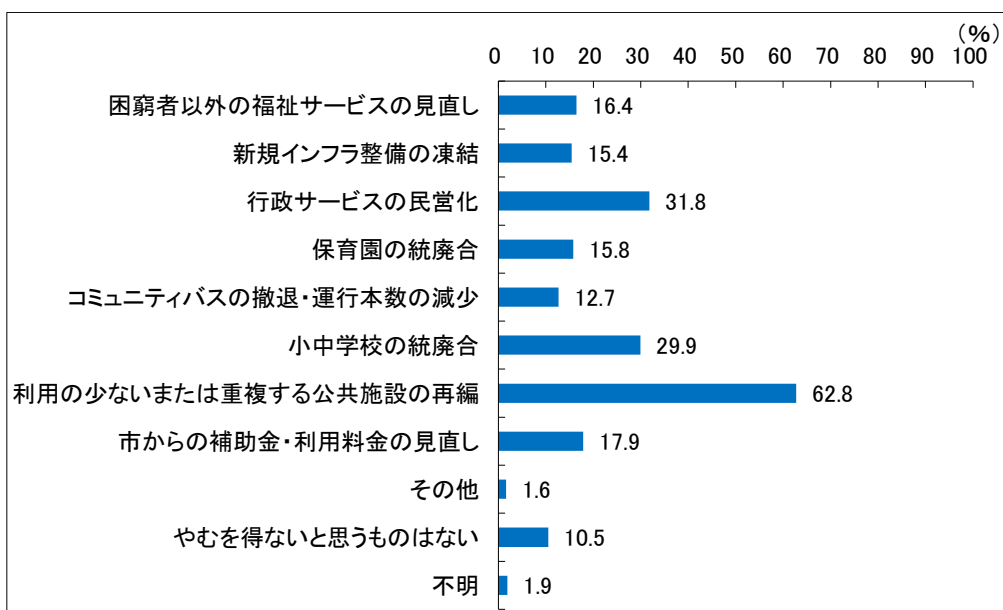
市民負担の増加に対する考え方として、「本当に必要な市民主体の実施も考える (37.3%)」、「サービスが向上するなら税や負担が増えても仕方ない (14.8%)」を合わせて 52.1%と、何らかの費用負担を受け入れる回答が半数を占める。一方、「負担を増やしてまでサービス向上は望まない (32.6%)」も 3割超を占める。



(n= 1,096)

問 28 将来、変化があっても、やむを得ないと思うものは何ですか。(MA : 3つまで)

やむを得ない変化としては「利用の少ないまたは重複する公共施設の再編 (62.8%)」が最も高く、突出している。次いで「行政サービスの民営化 (31.8%)」、「小中学校の統廃合 (29.9%)」となっている。



(n= 1,096)